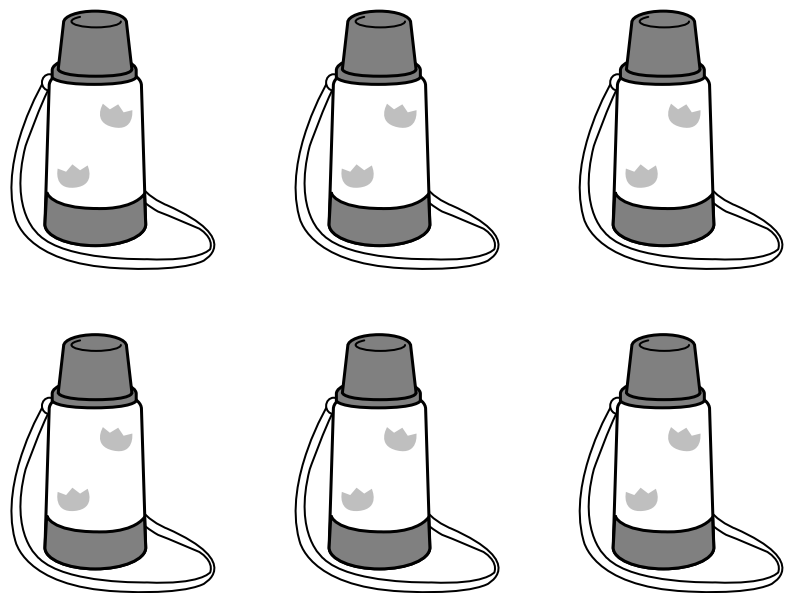
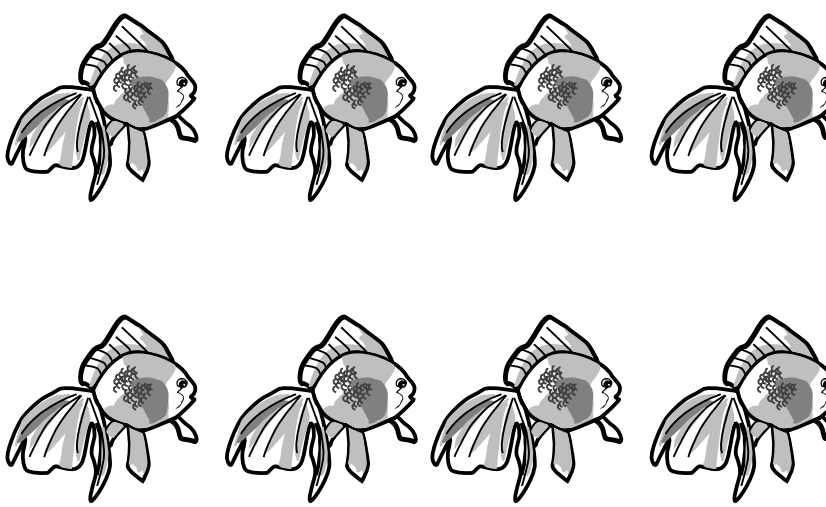
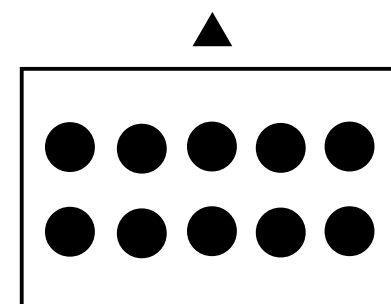
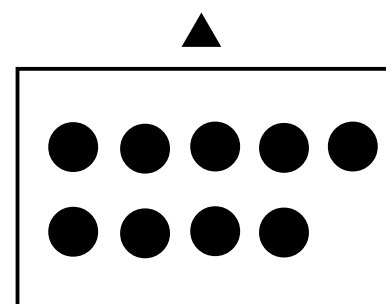
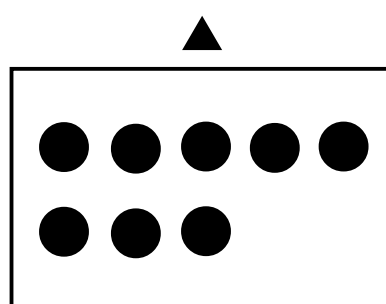
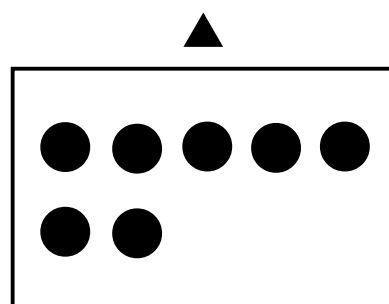
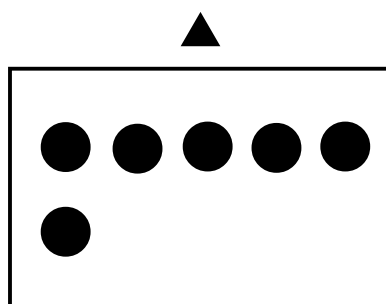
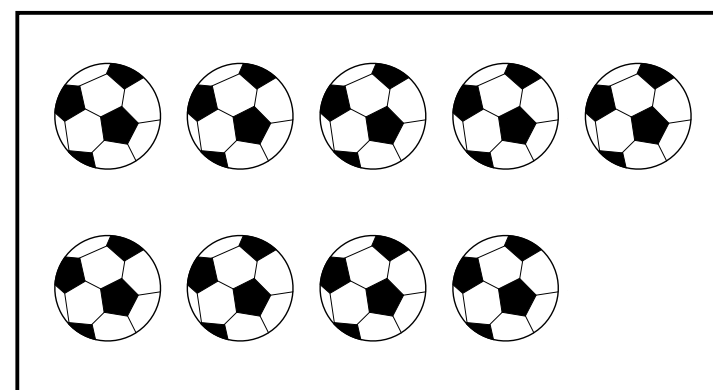
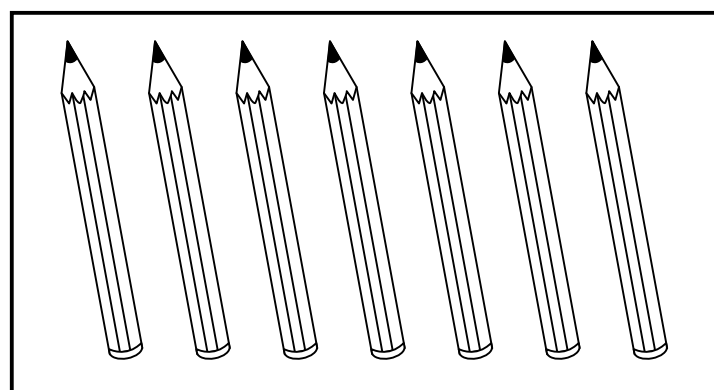
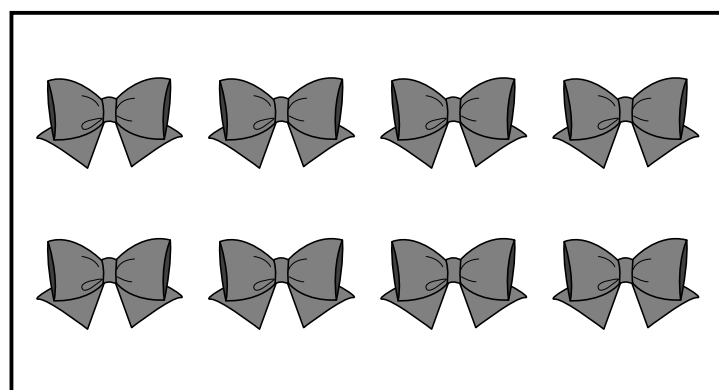
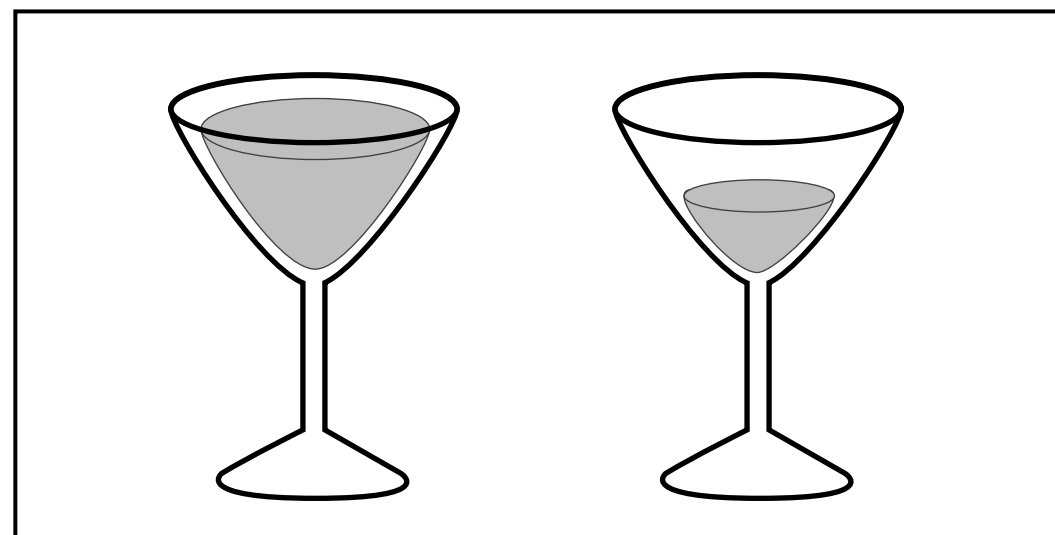
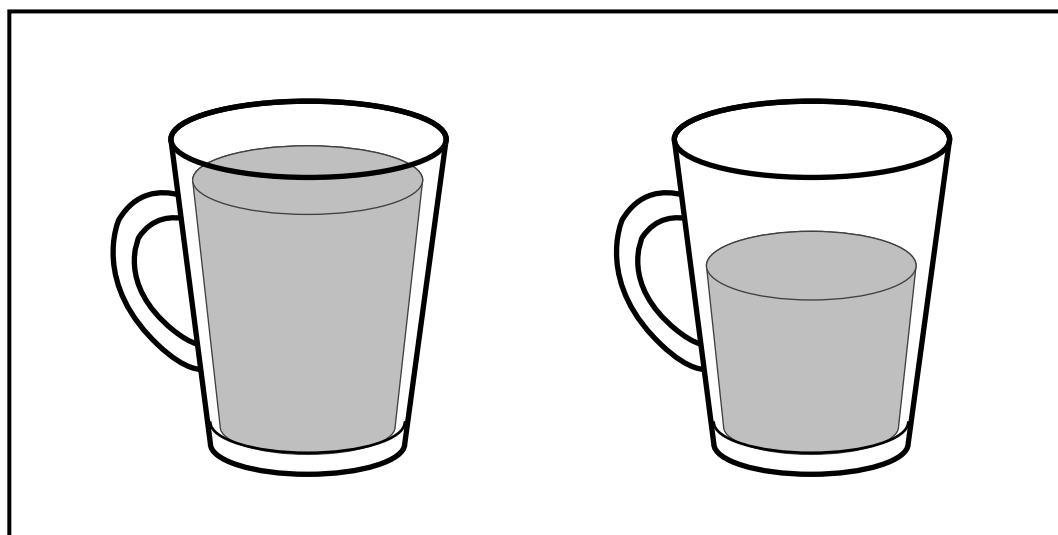
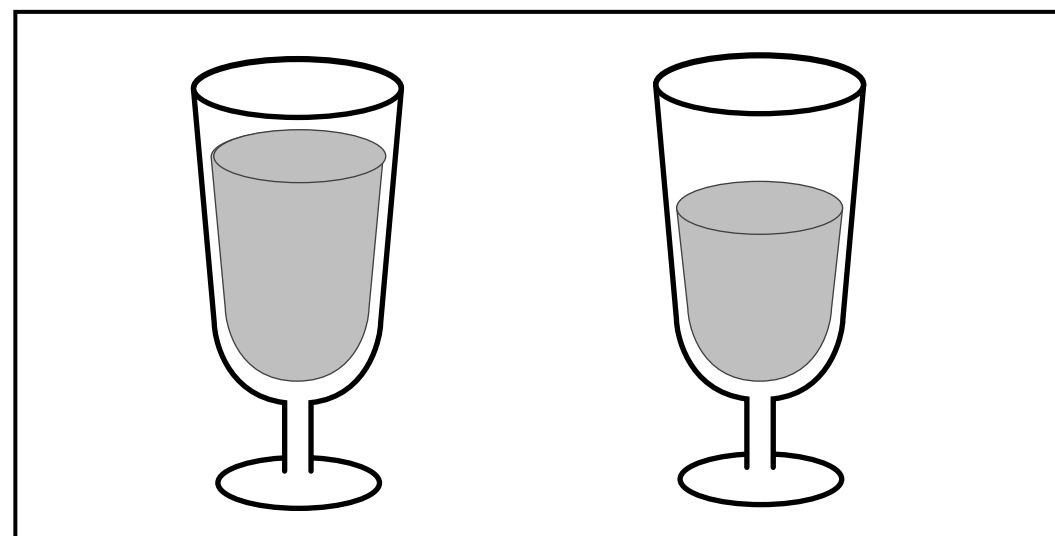
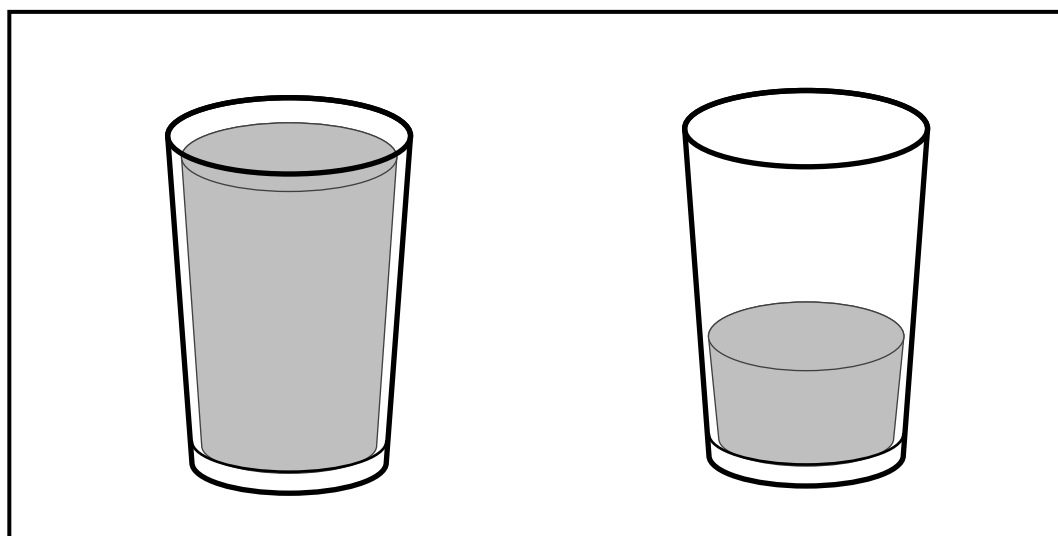


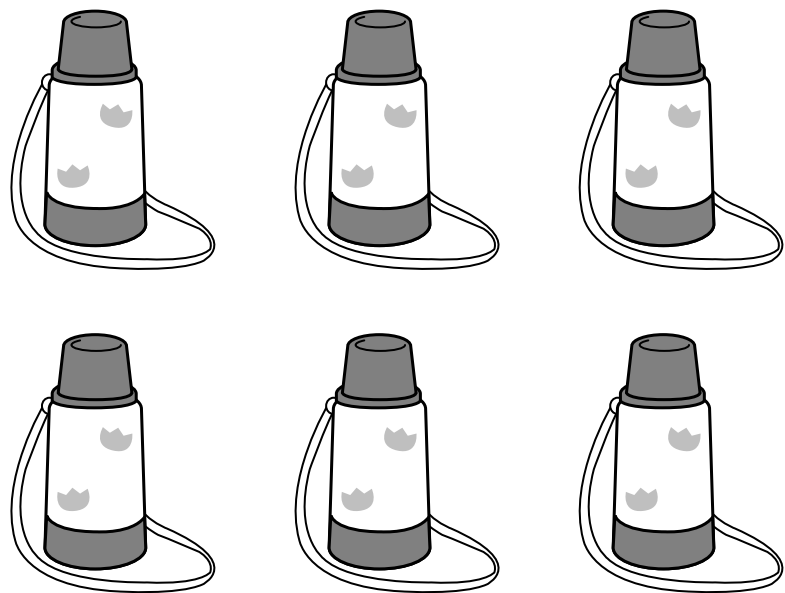




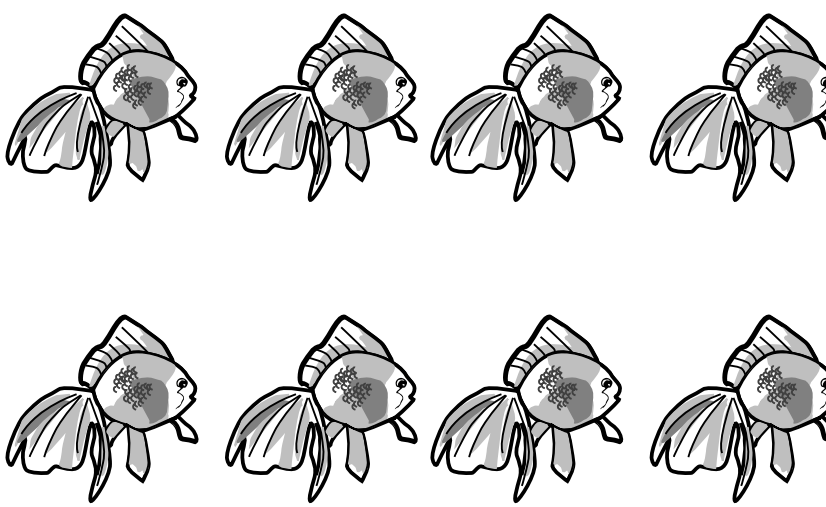




<問題> いくつあるでしょう。その数だけ下の□に○をかきましょう。



○	○	○	○	○
○				

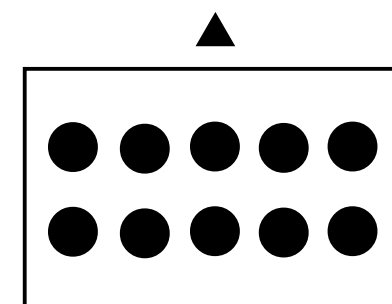
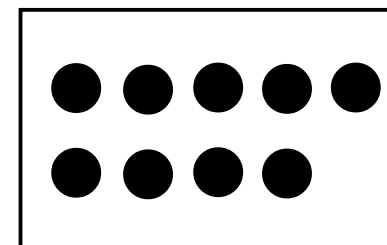
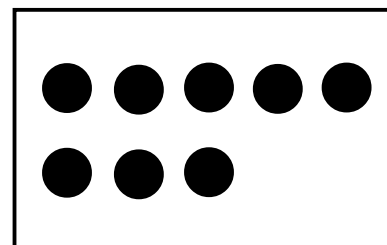
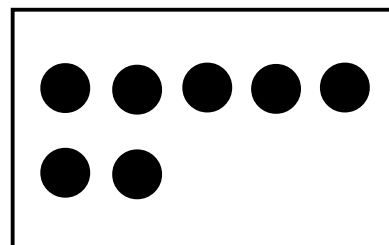
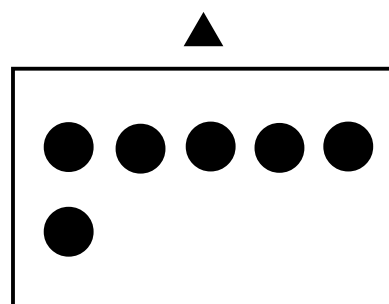
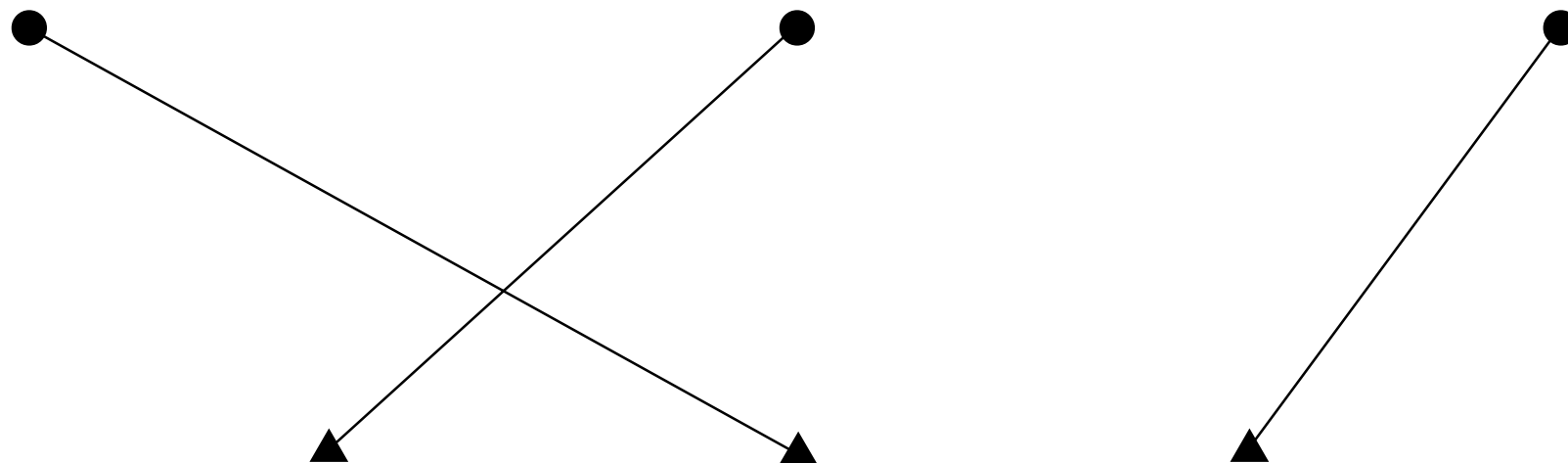
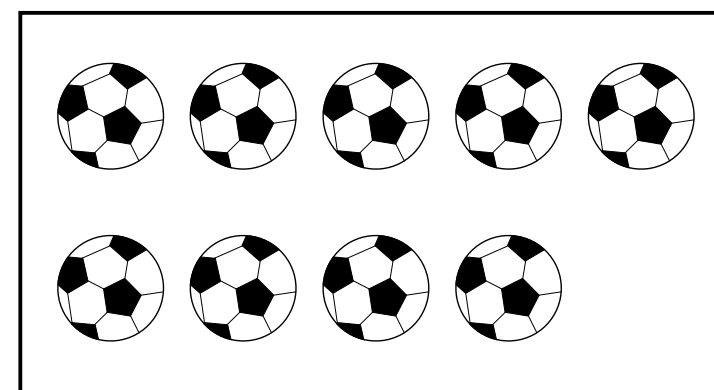
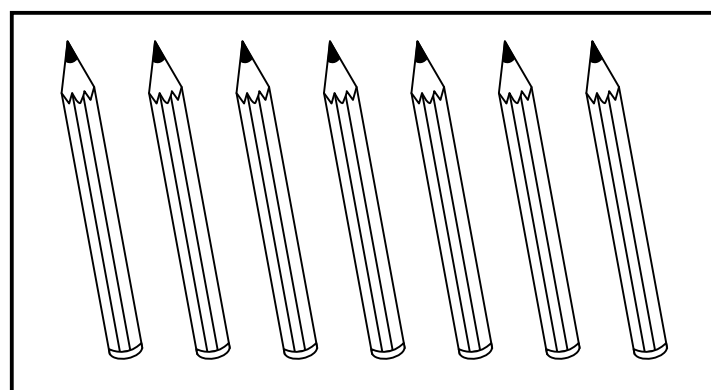
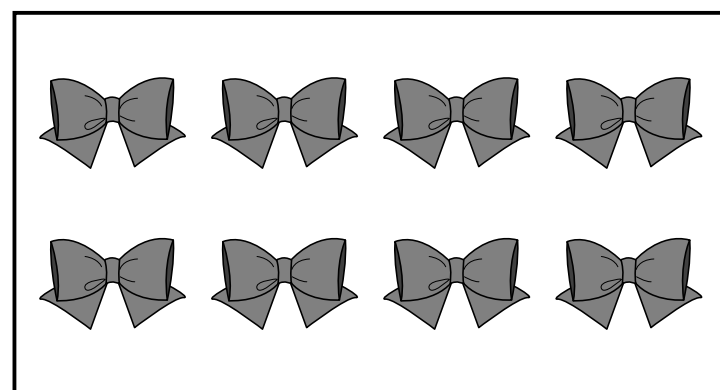


○	○	○	○	○
○	○	○		

<指導のポイント>

まず、絵を1つずつ指でおさえながら（または、絵に印をつけながら）「1、2、3、4、5、6」と、数を数えて、今度は「1、2、3、4、5、6」と数えながら、下の箱に○を6個書きます。数える声と手がうまく合うように、ゆっくり数えながら、左はしから順に○を1つずつ書きましょう。

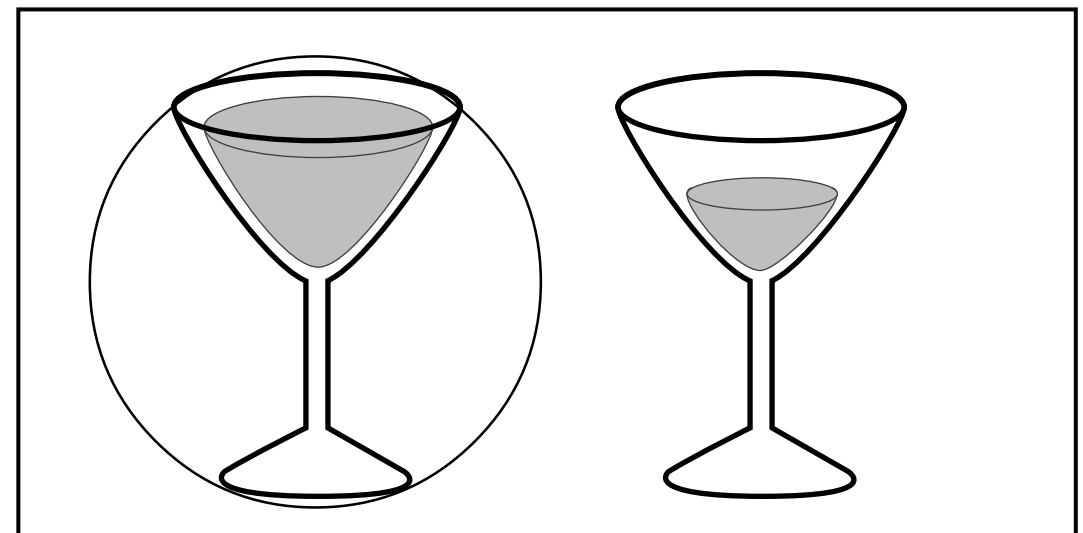
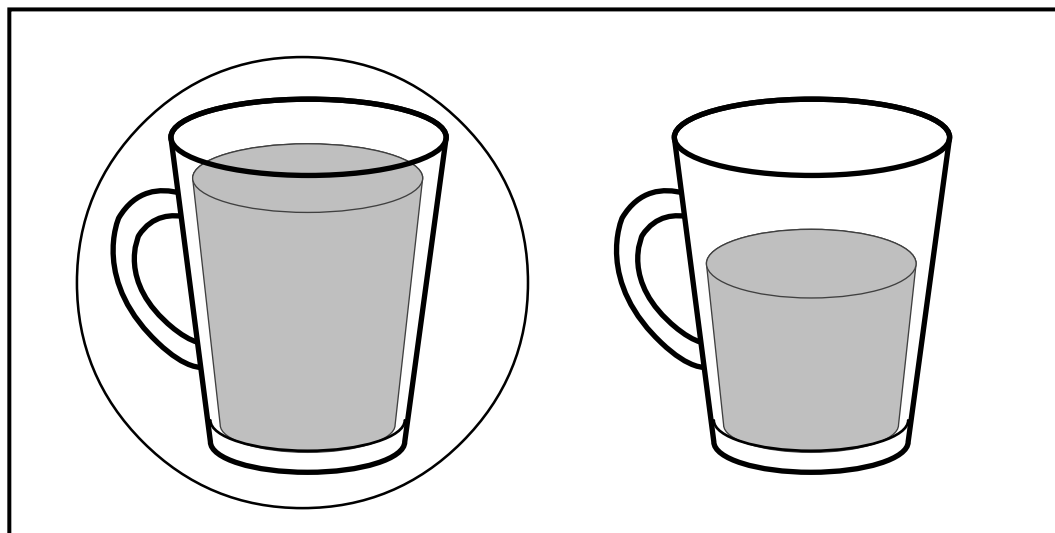
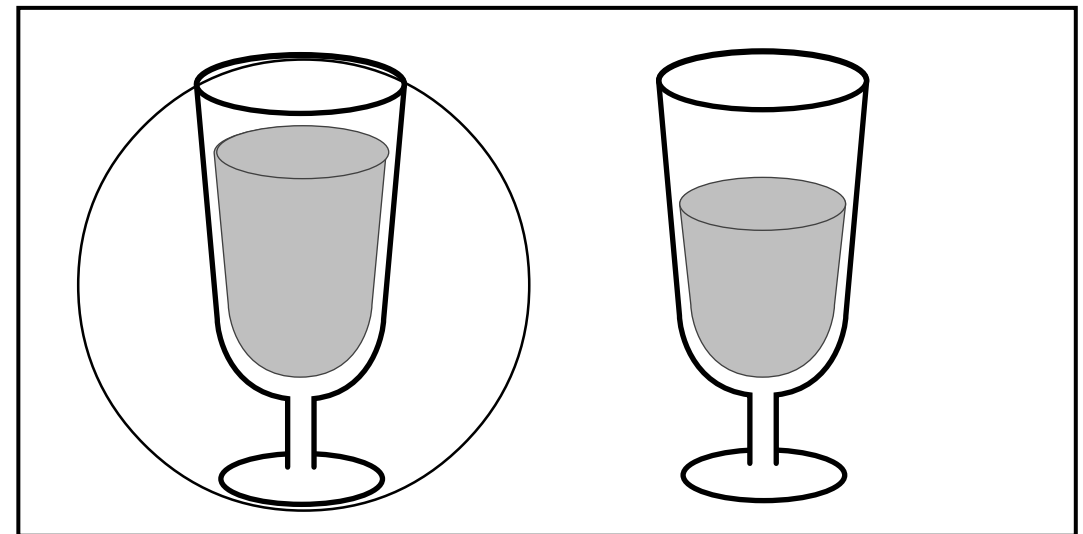
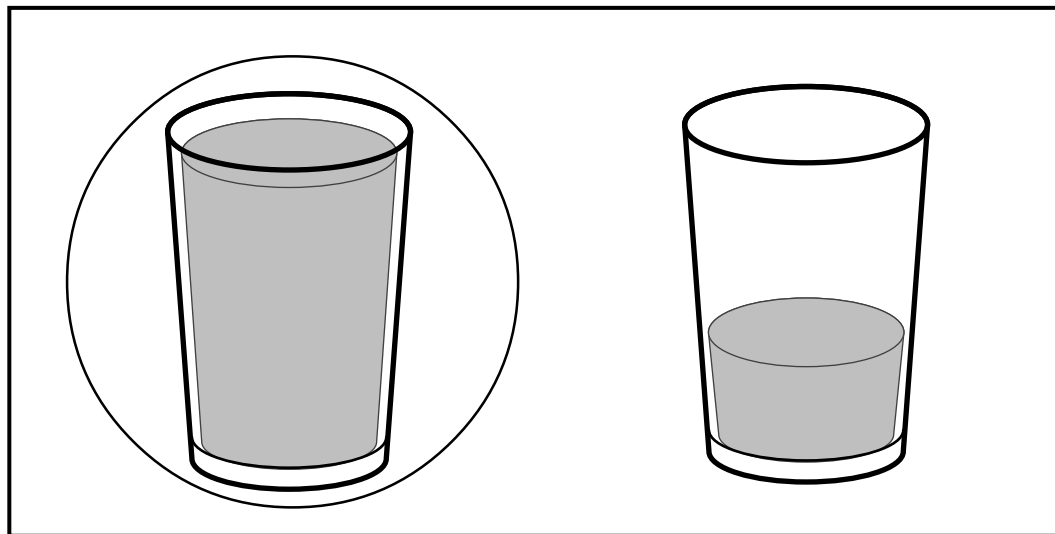
<問題> 同じかずのものを、線で結びましょう。



<指導のポイント>

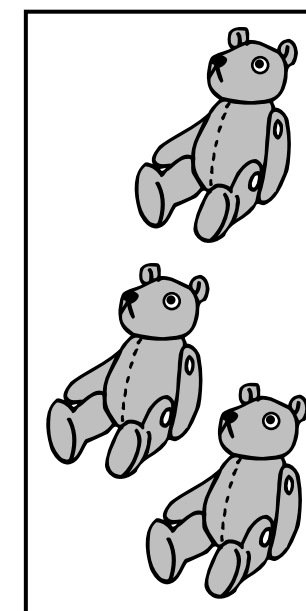
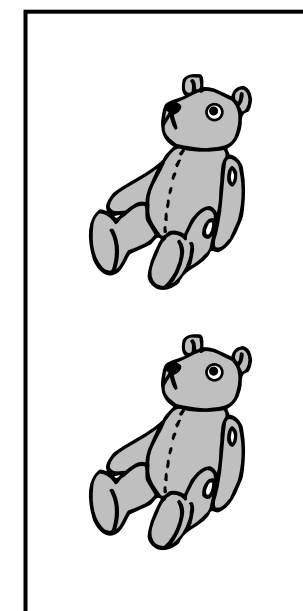
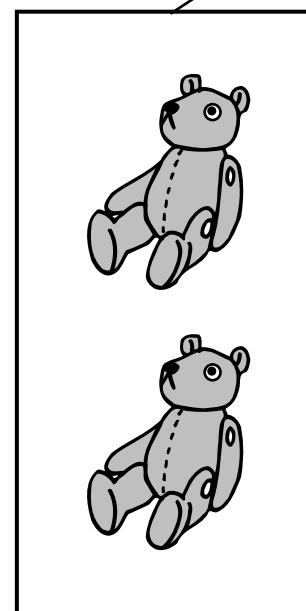
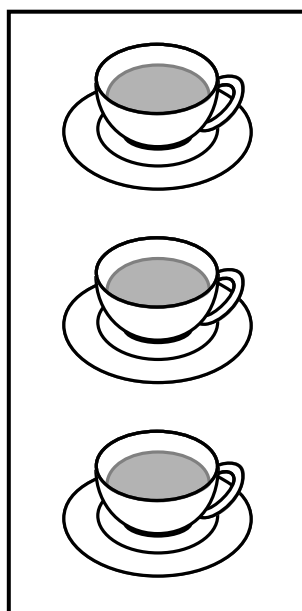
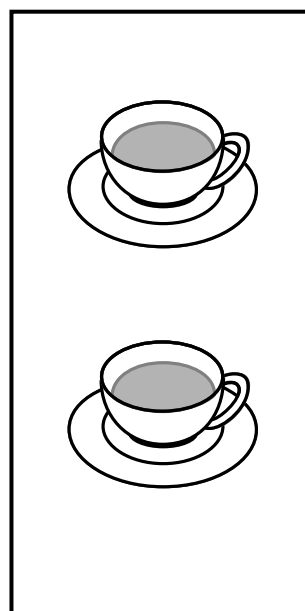
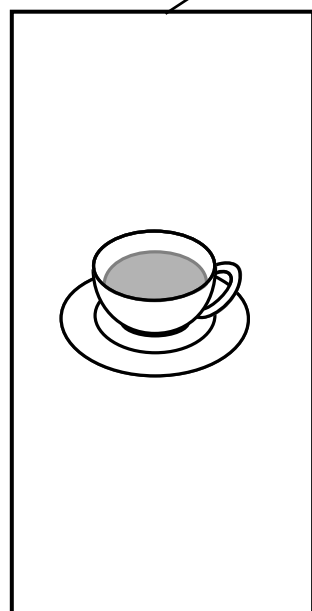
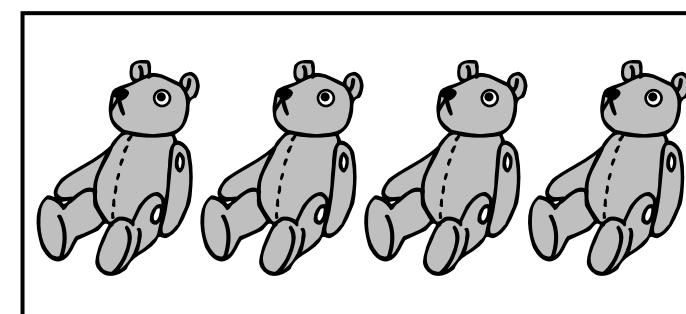
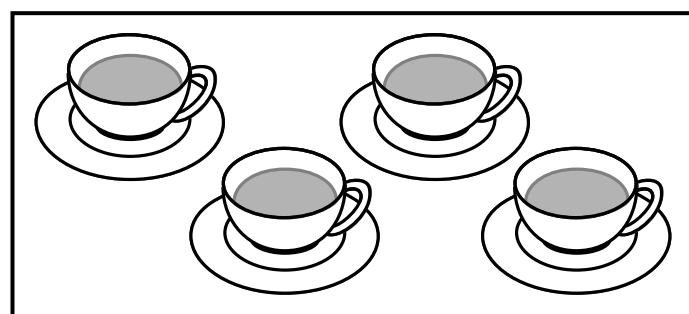
まず、下の段のドッツ（黒丸）の数を確認してから、上の段の絵の数を数えて、同じ数のものをさがせるとよいでしょう。「10」までの数がしっかり数えられるように、身近なものを使って数える練習を続けましょう。

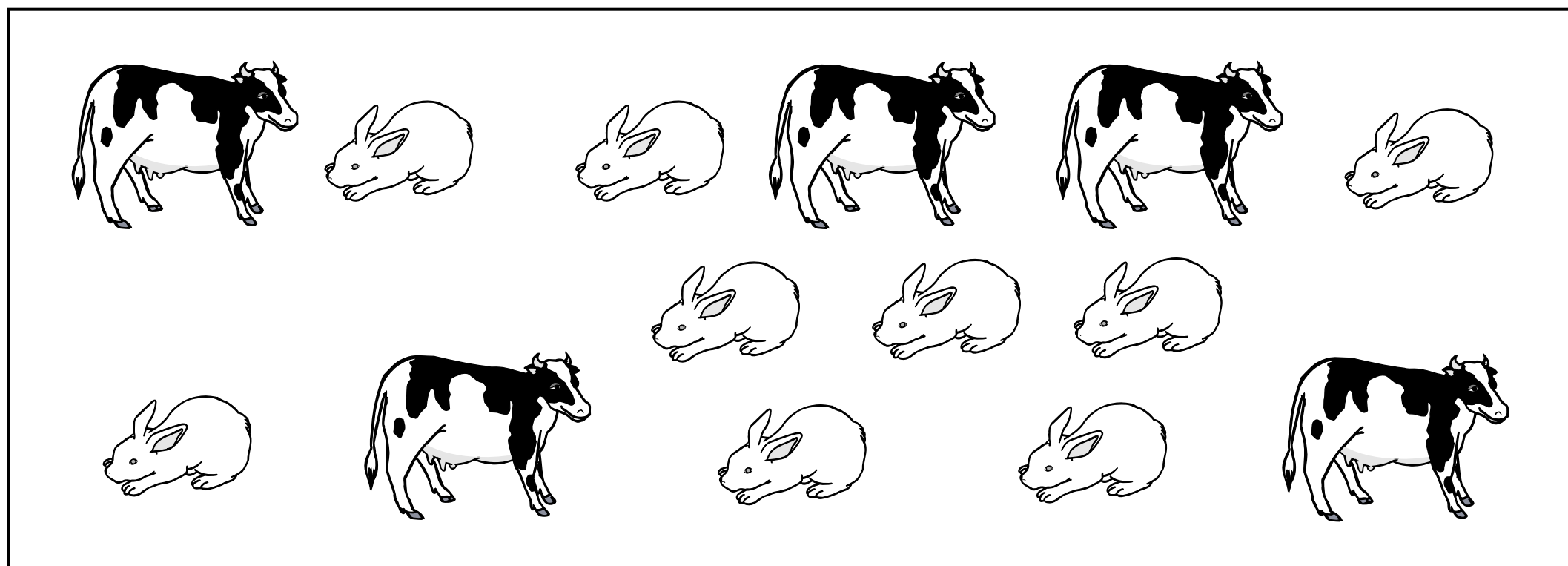
<問題> 多い方に、○をつけましょう。



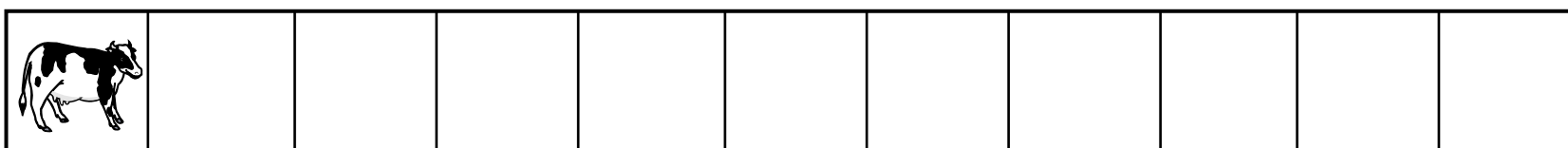
<指導のポイント>

いろいろな容器に水を入れたり移しかえたりして、実際に水の量を比べてみましょう。同じ容器に入っている時には、水面の高さが高い方が量が多くなります。

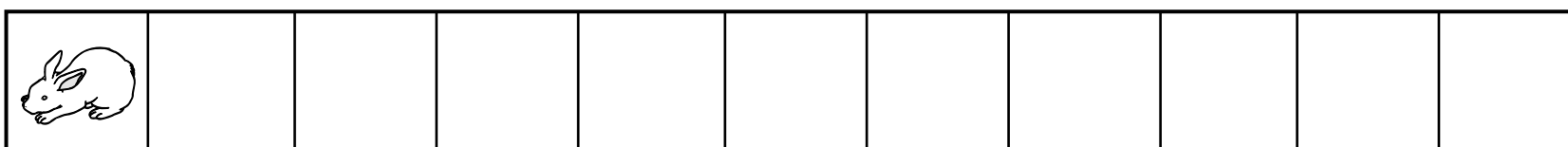




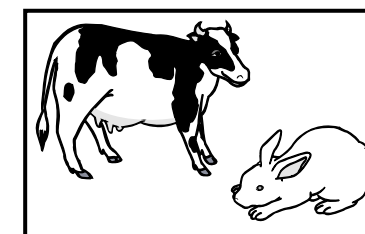
(1)

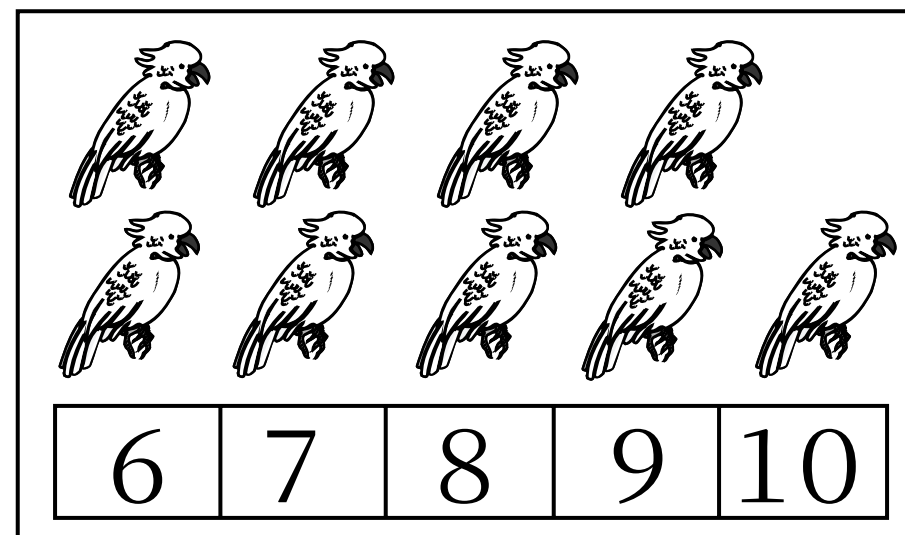
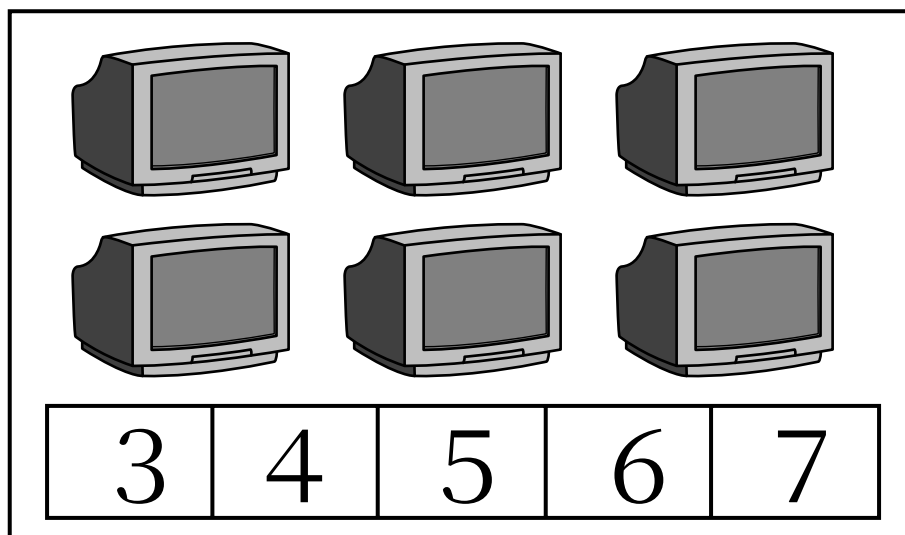
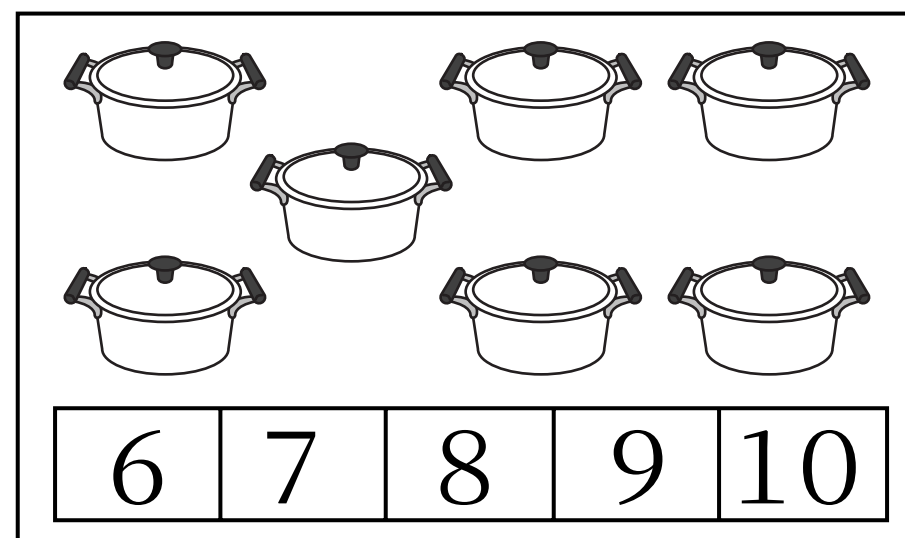
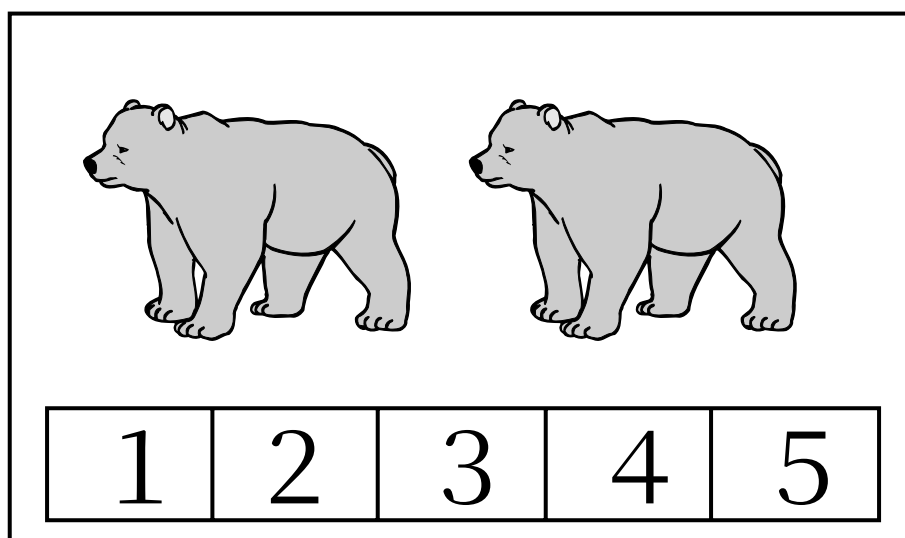


(2)

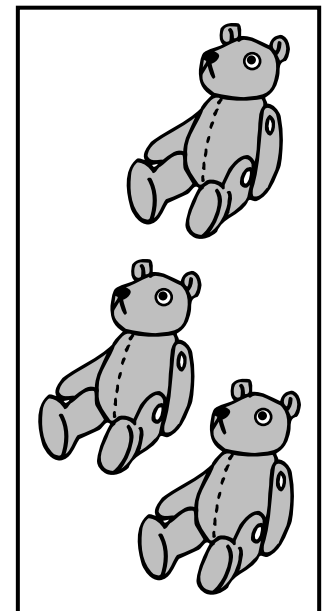
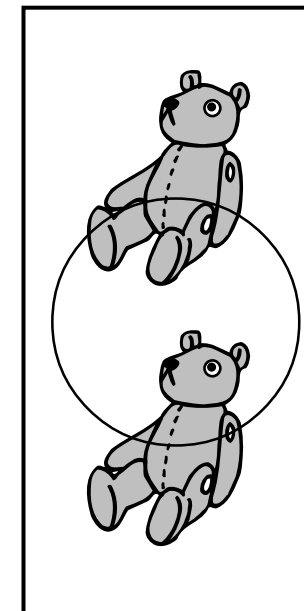
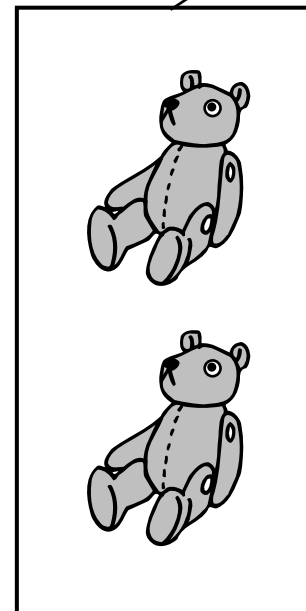
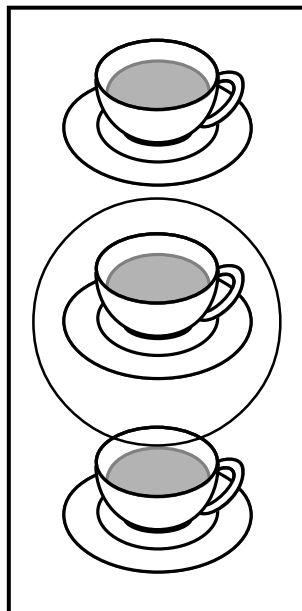
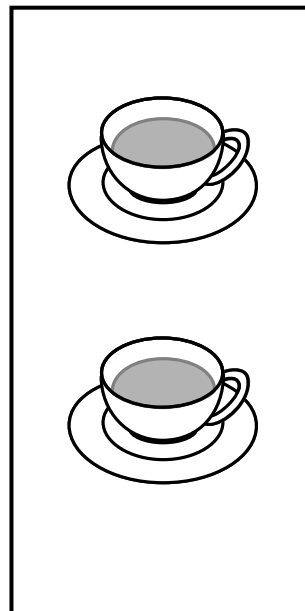
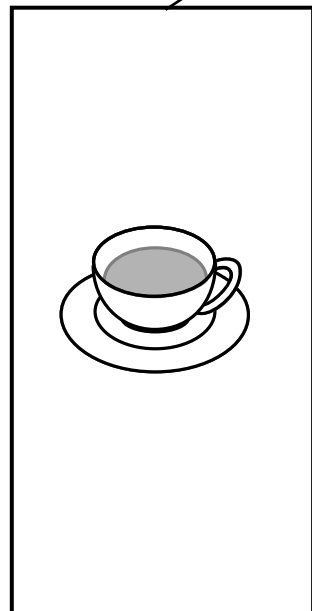
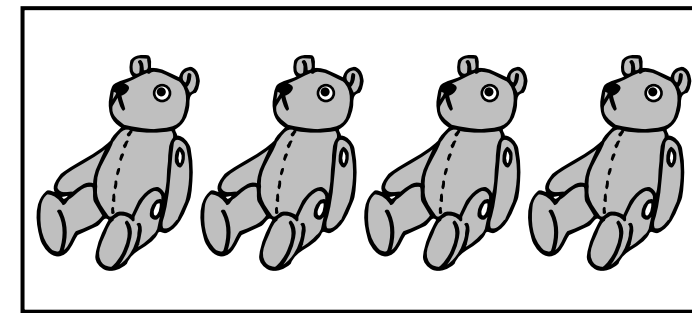
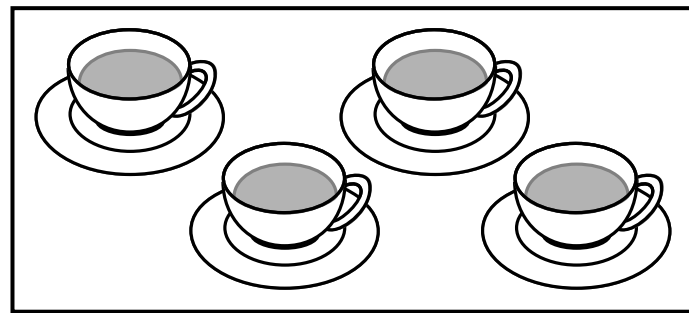


(3)





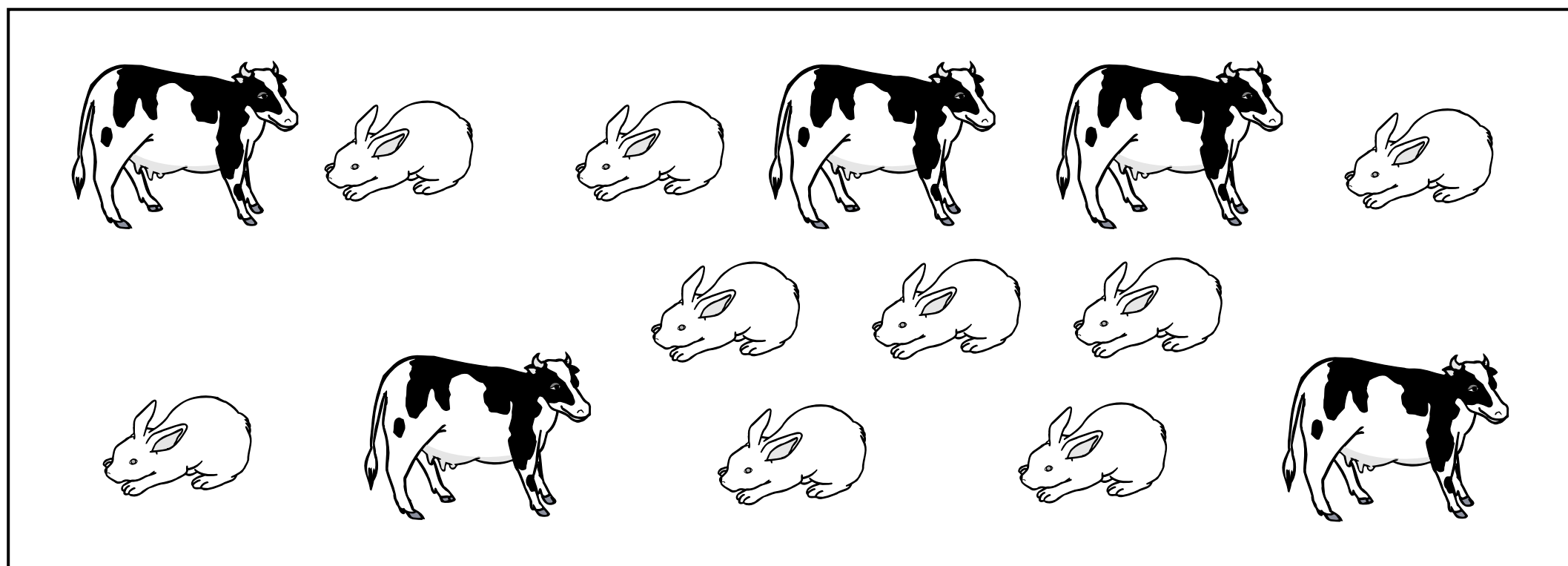
<問題> 残りはいくつですか。あう方の絵を右側から選んで、○をつけましょう。



<指導のポイント>

積み木やお菓子などを使って、実際に2個や3個のものを2つに分けて、残りがいくつになるか数えてみましょう。プリントでは、上の絵に左の絵の数の分だけ／を入れて消して、残った数を数えてさせるとよいでしょう。

<問題> (1) うしは何匹いますか。その数だけ○をかきましょう。(2) うさぎは何匹いますか。その数だけ○をかきましょう。
(3) 多いほうの絵に○をつけましょう。

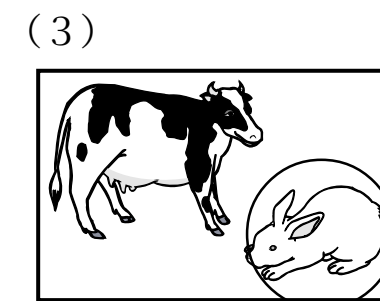


(1)

	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
---	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

(2)

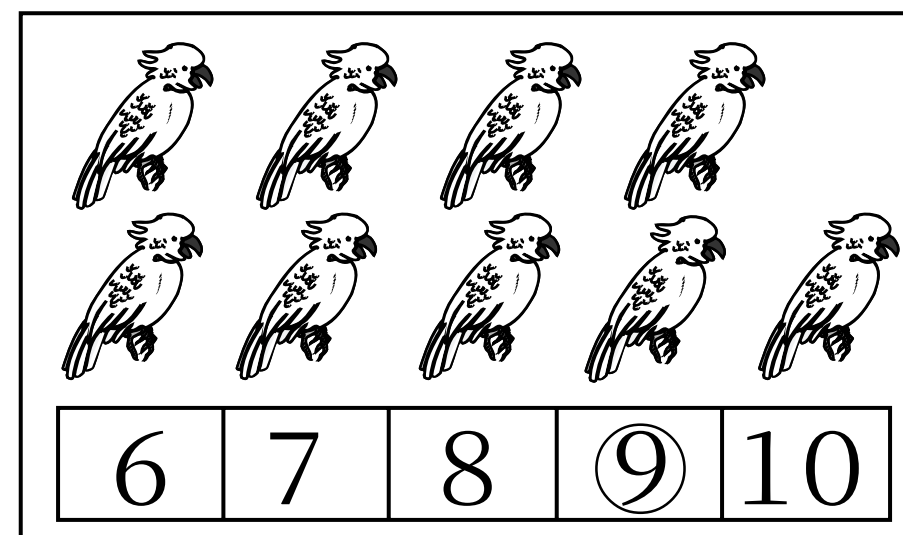
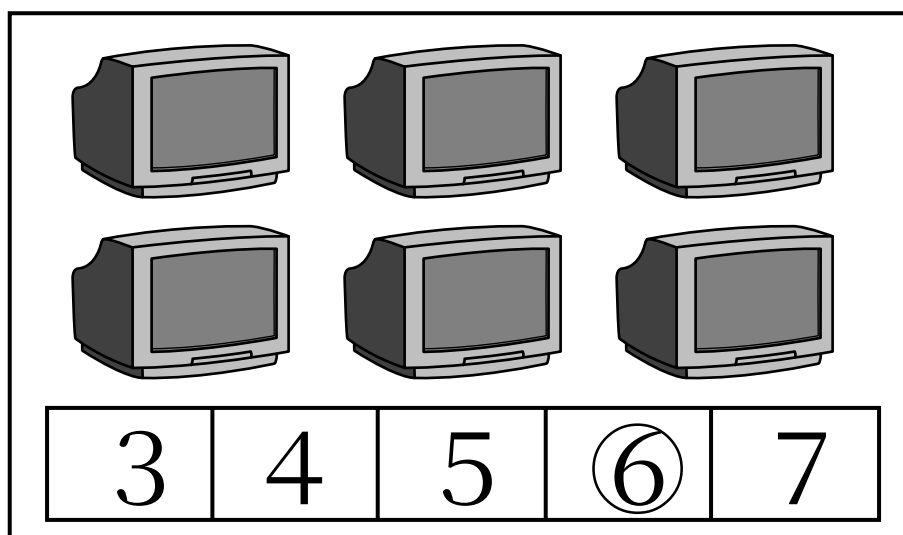
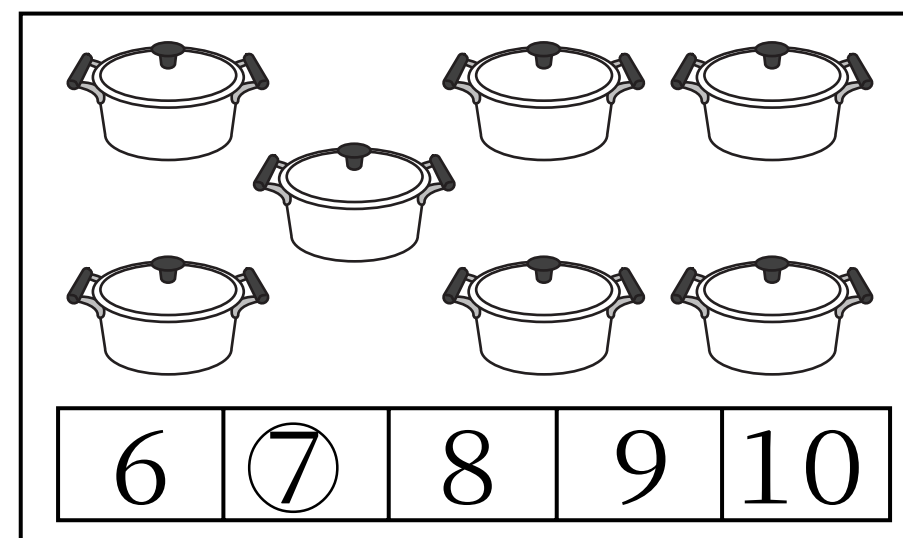
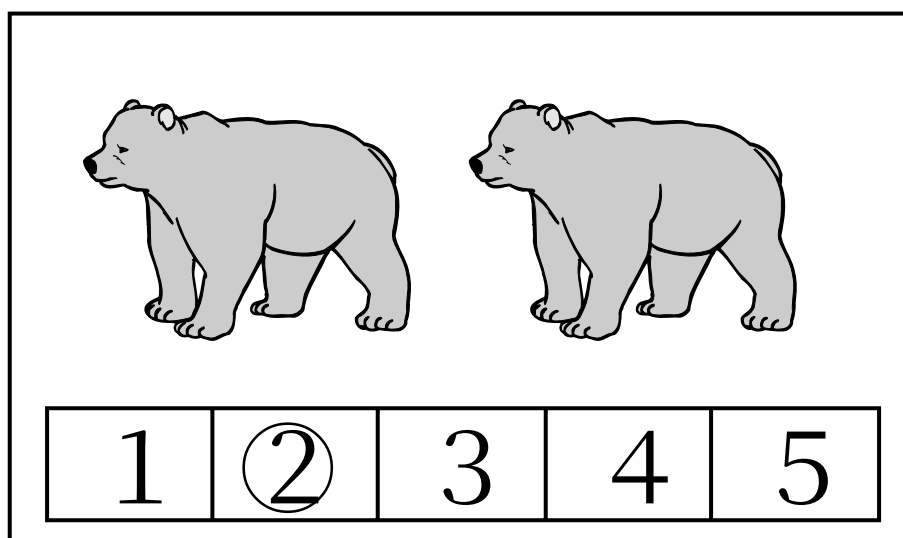
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
---	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------



<指導のポイント>

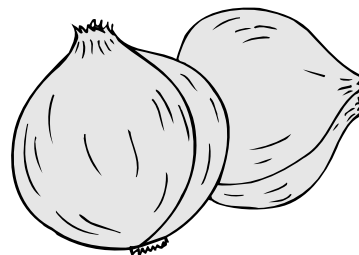
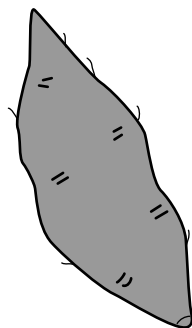
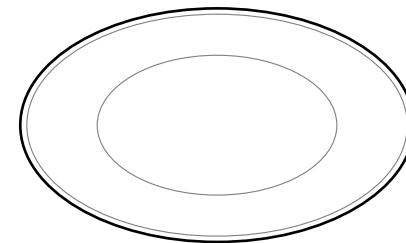
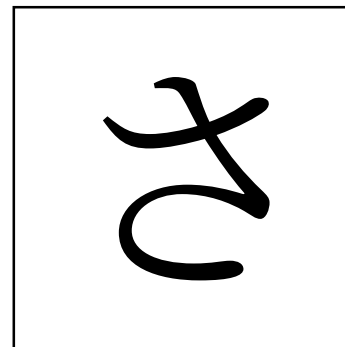
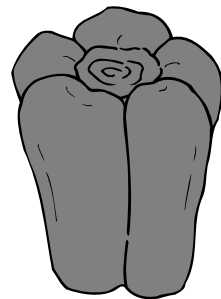
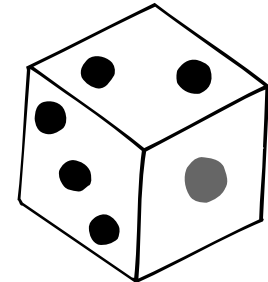
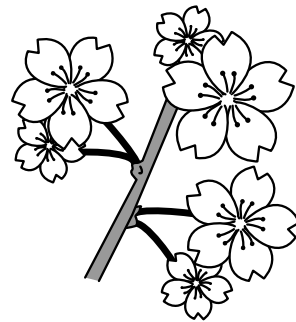
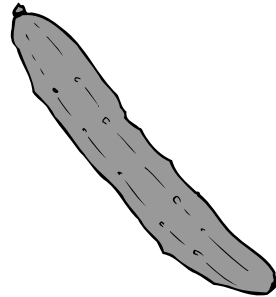
1匹ずつ絵に印をつけて、数え忘れや重複がないように数えましょう。バラバラになっていたものを○におきかえてそれぞれ一列に並べてみると、どちらが多いかよくわかります。

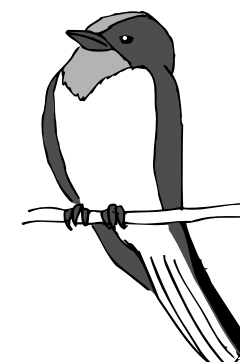
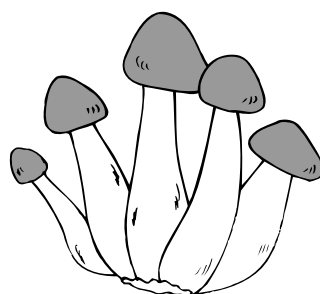
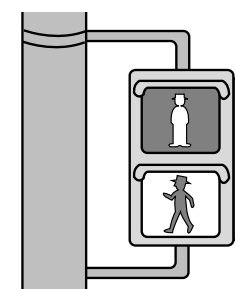
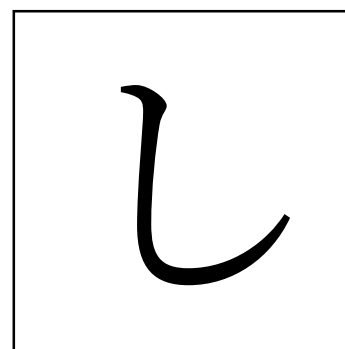
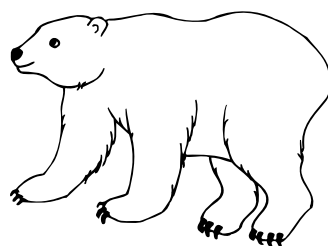
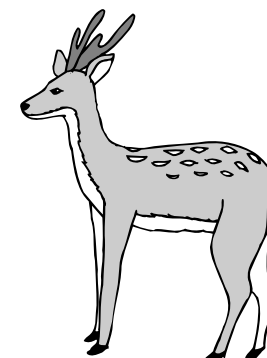
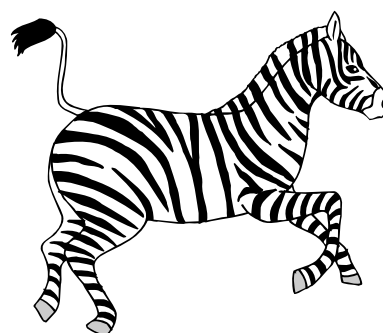
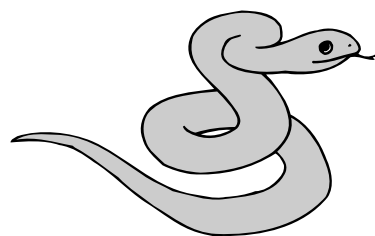
<問題> いくつあるでしょう。その数の数字に○をつけましょう。

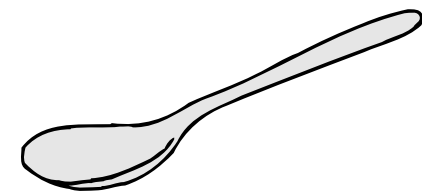
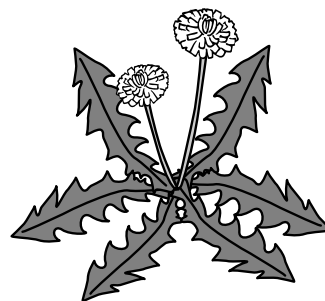
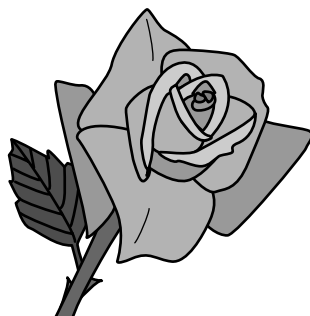
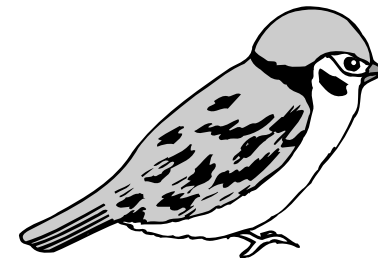
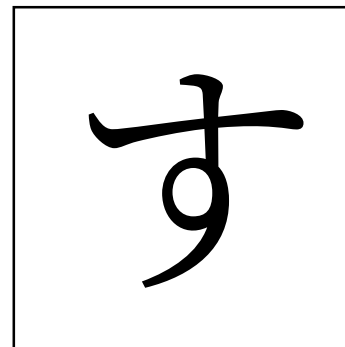
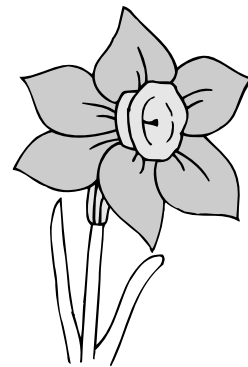
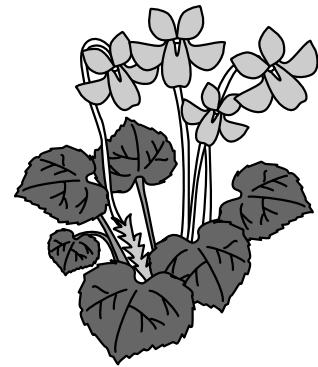
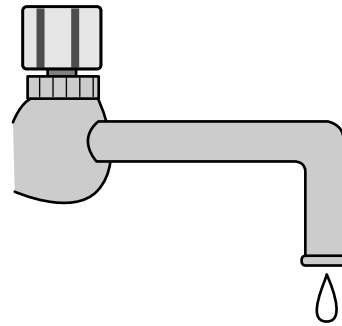
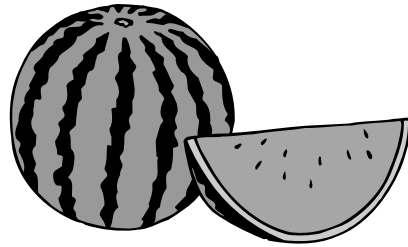


<指導のポイント>

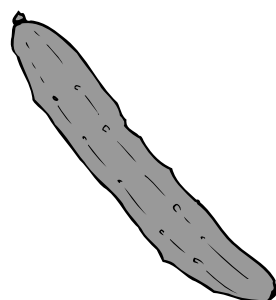
数える時には、絵に1つずつ印をつけながら、「1、2、3、4、5」と声を出して数えましょう。まず、指導者がお手本を見せてあげてください。お子さんが数える時は、印をつける手と数える声がうまく合うように、ゆっくり数えるよう一緒に声をかけてあげてください。



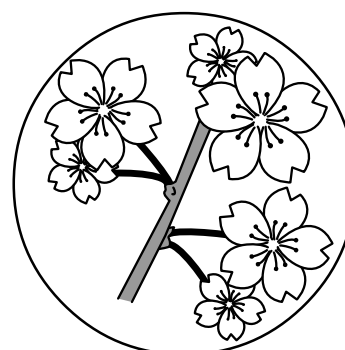




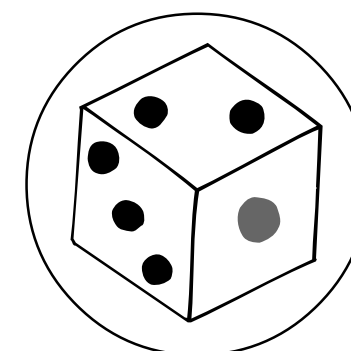
- <問題> (1) 何の絵でしょうか。一つずつ名前を言いましょう。
 (2) この絵の中で、一番はじめに「さ」がつくものに、○をつけましょう。



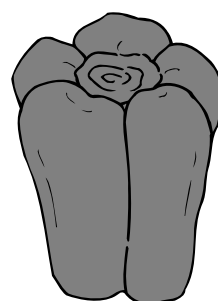
きゅうり



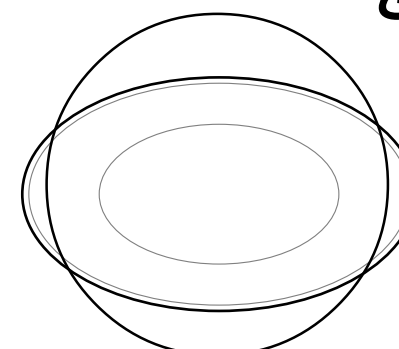
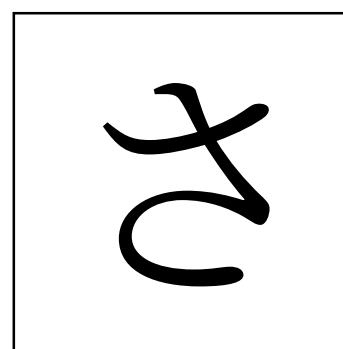
さくら



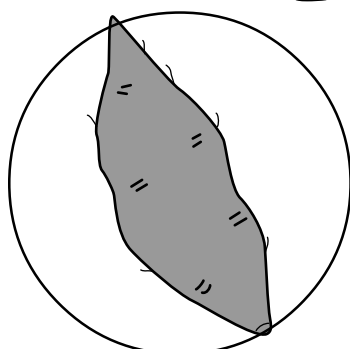
さいころ



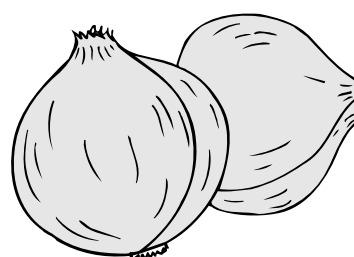
ピーマン



さら

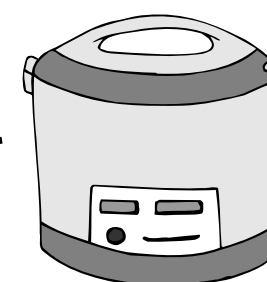


さつまいも



たまねぎ

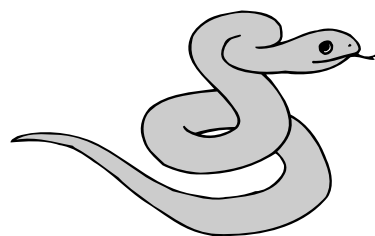
すいはんき



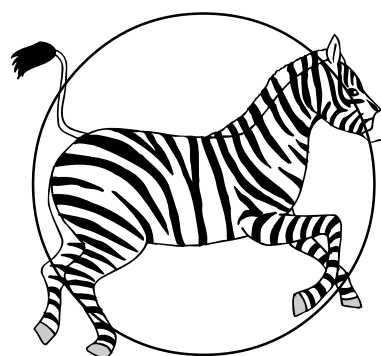
<指導のポイント>

(2) では、『さ・く・ら』の『さ』。『さ』がつくから○をつけましょう。」というように、名前とその始めの音を一つずつ確認しながら、○をつけていくとよいでしょう。また、「きゅうり」「ピーマン」「さつまいも」「たまねぎ」は「野菜」の仲間であることもお子さんに教えてあげてください。

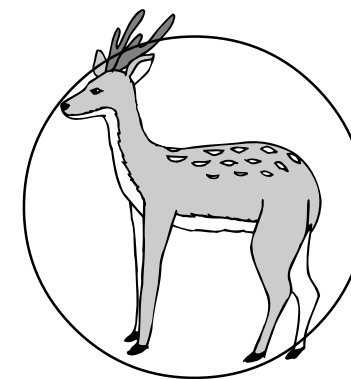
- <問題> (1) 何の絵でしょうか。一つずつ名前を言いましょう。
 (2) この絵の中で、一番はじめに「し」がつくものに、○をつけましょう。



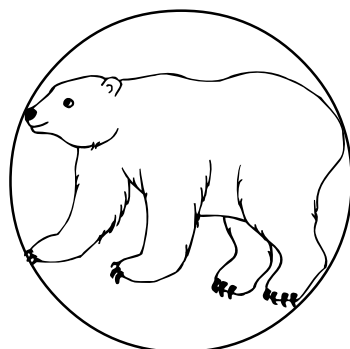
へび



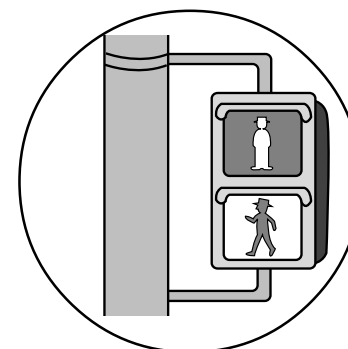
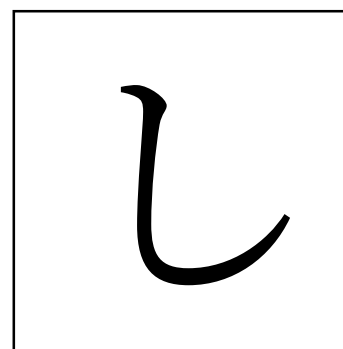
しまうま



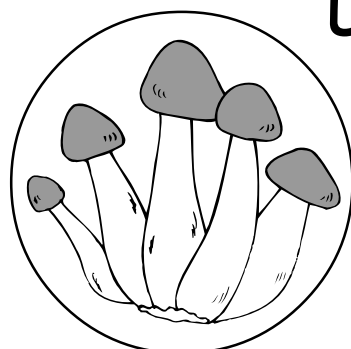
しか



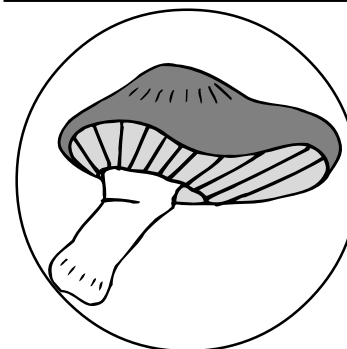
しろくま



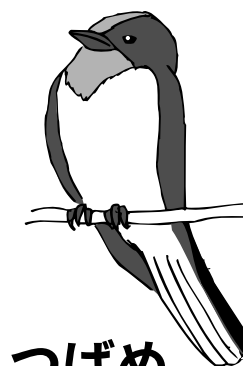
しんごう



しめじ



しいたけ

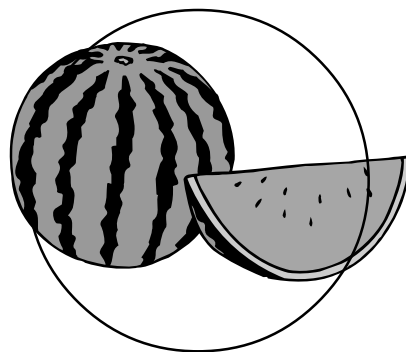


つばめ

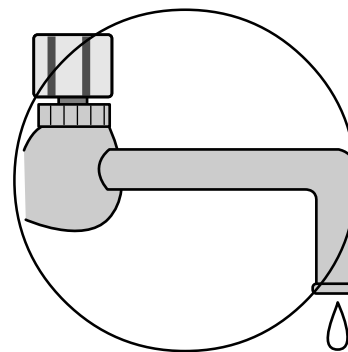
<指導のポイント>

名前とその始めの音の一つずつ確認しながら、○をつけさせていくとよいでしょう。また、この絵の中で、「しまうま」「しか」「しろくま」は、すべて「けもの」の仲間であることも教えてあげてください。

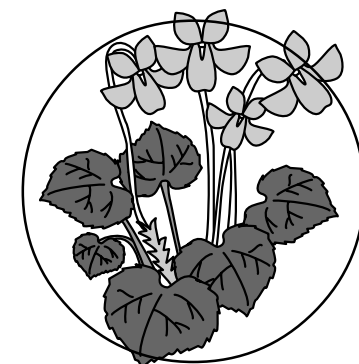
- <問題> (1) 何の絵でしょうか。一つずつ名前を言いましょう。
 (2) この絵の中で、一番はじめに「す」がつくものに、○をつけましょう。



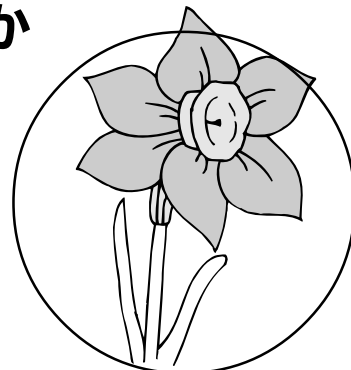
すいか



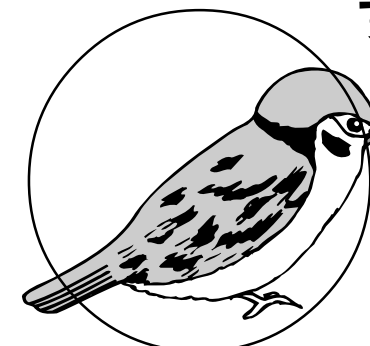
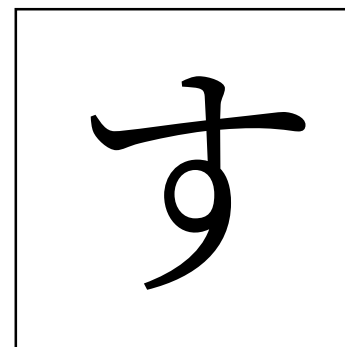
すいどう



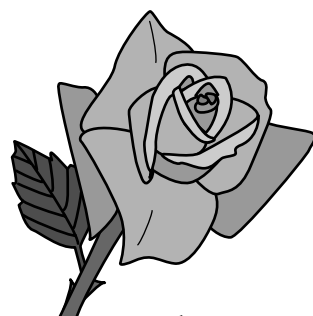
すみれ



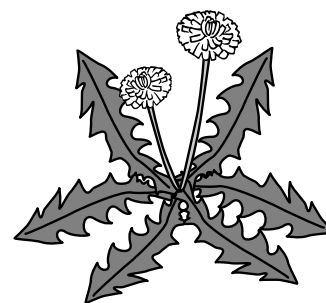
すいせん



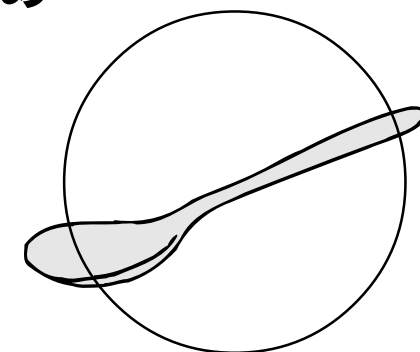
すずめ



ばら



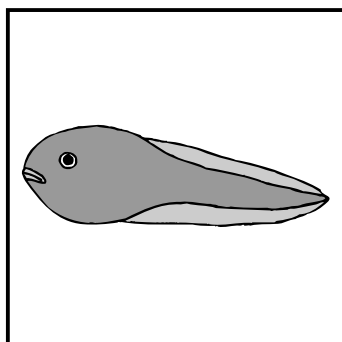
たんぽぽ



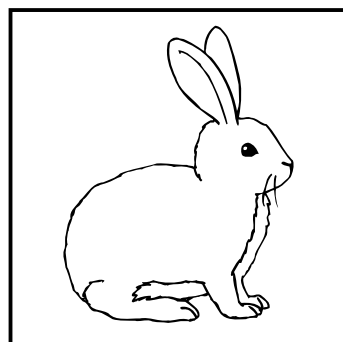
スプーン

<指導のポイント>

名前とその始めの音の一つずつ確認しながら、○をつけさせていくとよいでしょう。また、この絵の中で、「すみれ」「すいせん」「ばら」「たんぽぽ」はすべて「花」の仲間であることも教えてあげてください。



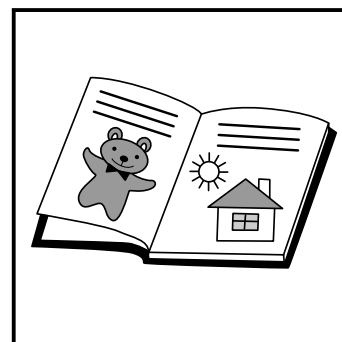
●



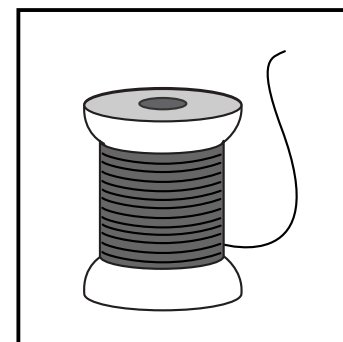
●



●



●



●

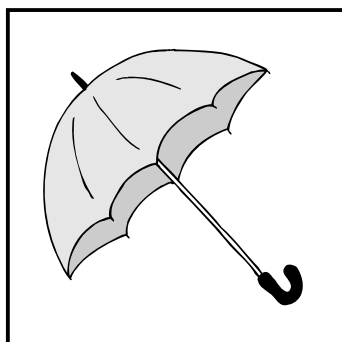
あ

い

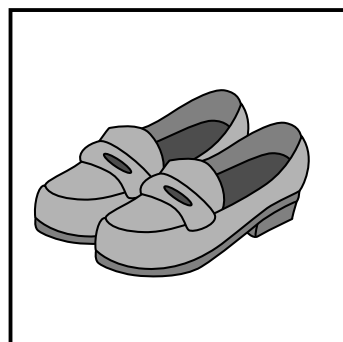
う

え

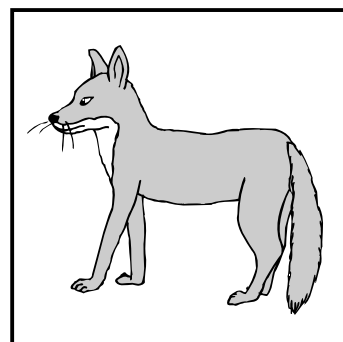
お



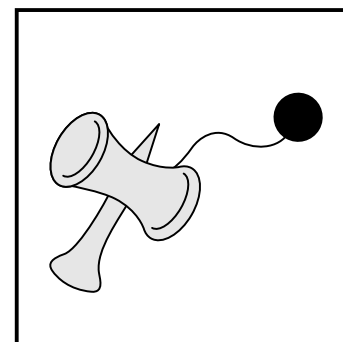
●



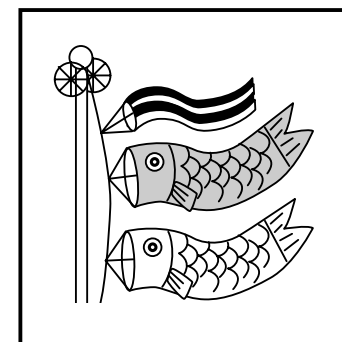
●



●



●



●

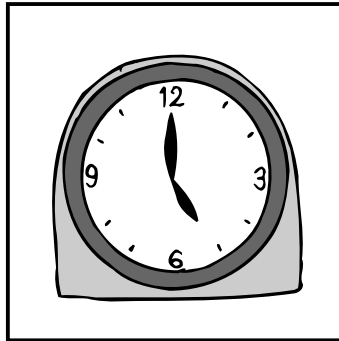
▲
か

▲
き

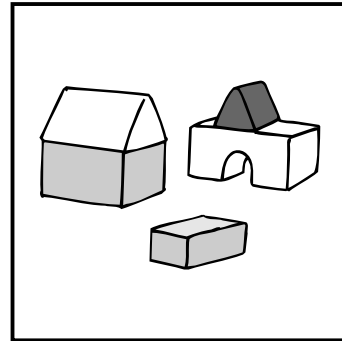
▲
く

▲
け

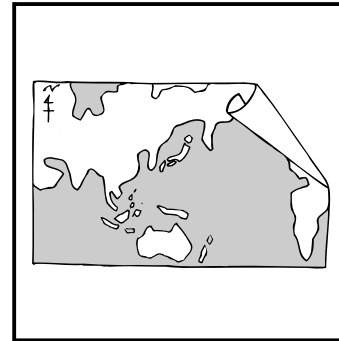
▲
こ



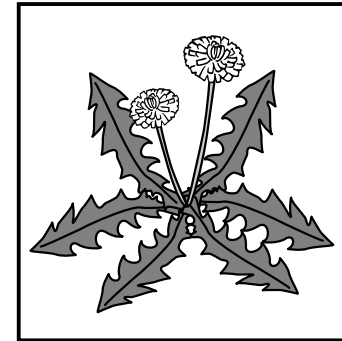
●



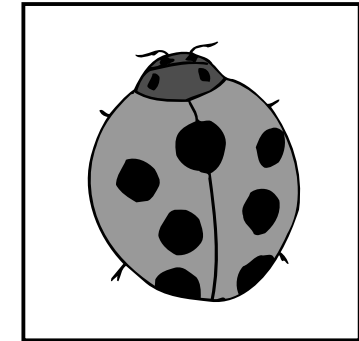
●



●



●



●

▲
た

▲
ち

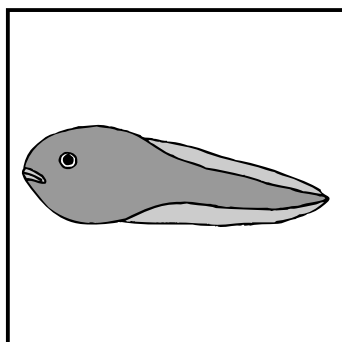
▲
つ

▲
て

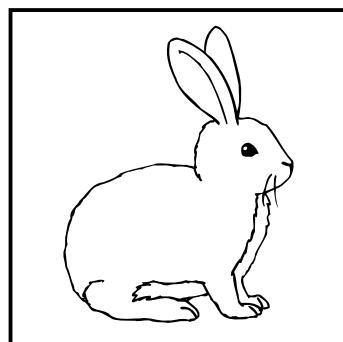
▲
と

<問題> ことばの始めにつく字をさがして、線で結びましょう。

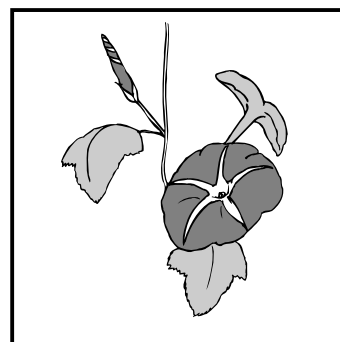
おたまじゃくし



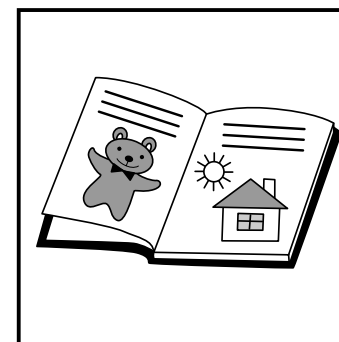
うさぎ



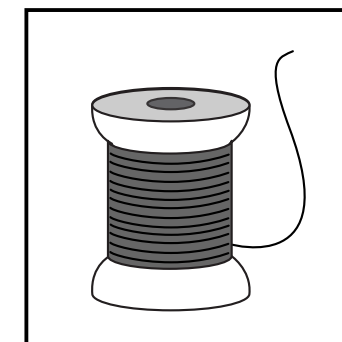
あさがお



えほん



いと



あ

い

う

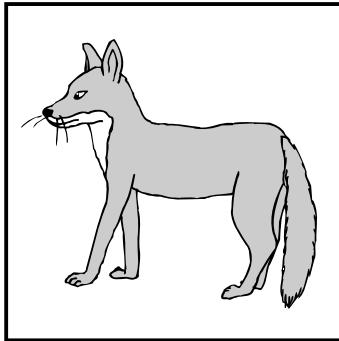
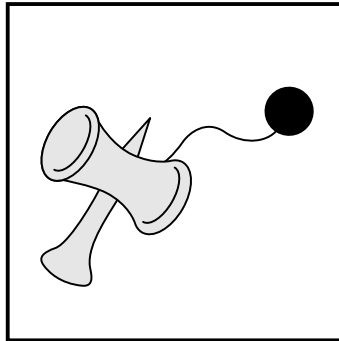
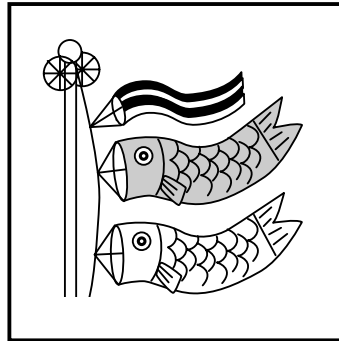
え

お

<指導のポイント>

まず、下の段のひらがなを読んで、復唱させて下さい。それから、上の段の絵の名前と一番はじめの音の一つずつ確認しながら（「いと」の「い」、「うさぎ」の「う」…）、線でむすばせるとよいでしょう。

<問題> ことばの始めにつく字をさがして、線で結びましょう。

かさ	くつ	きつね	けんだま	こいのぼり
				
●	●	●	●	●
↓	↘	↙	↓	↓
か	き	く	け	こ

<指導のポイント>

まず、下の段のひらがなを読んで、復唱させて下さい。それから、上の段の絵の名前と一番はじめの音を一つずつ確認しながら（「かさ」の「か」、「くつ」の「く」…）、線でむすばせるとよいでしょう。

<問題> ことばの始めにつく字をさがして、線で結びましょう。

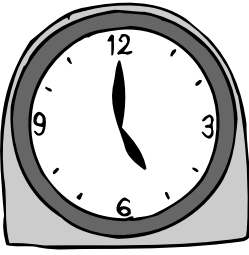
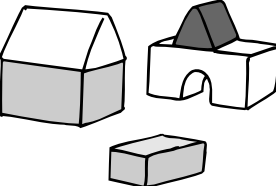
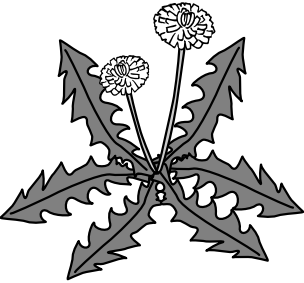
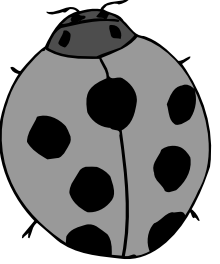
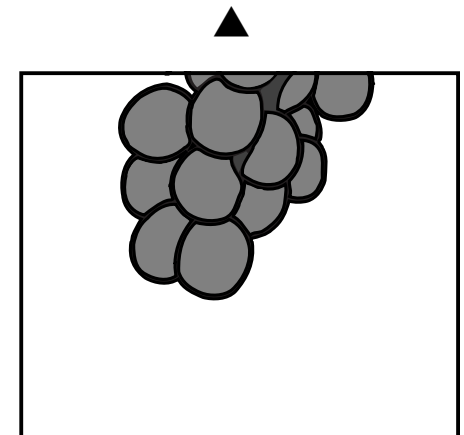
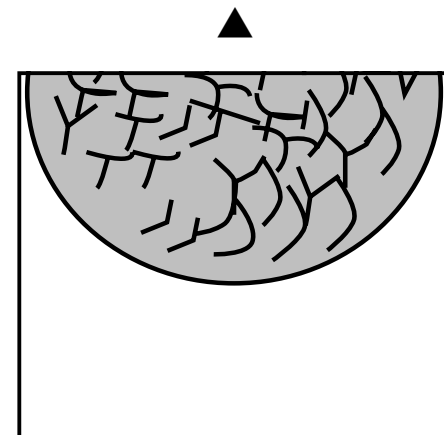
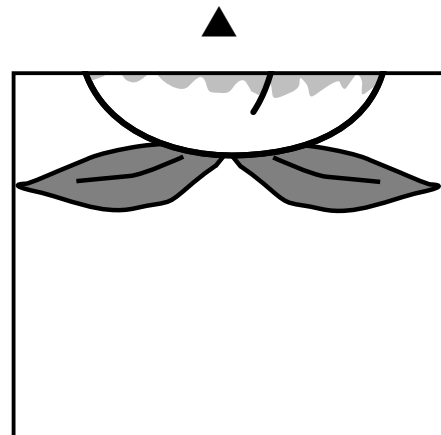
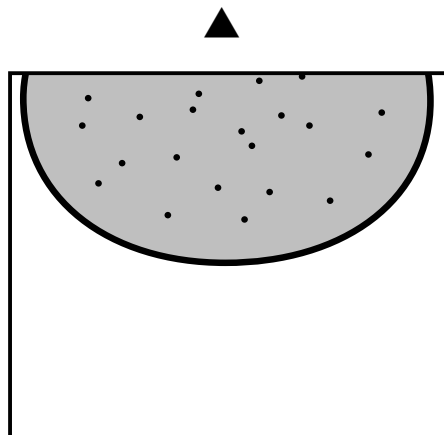
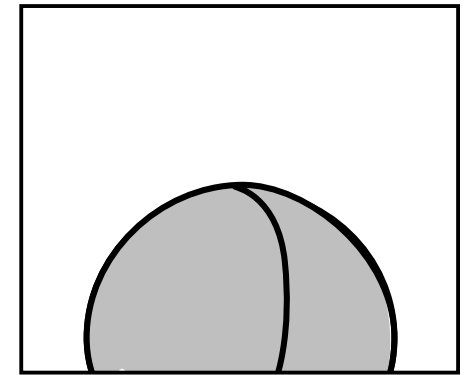
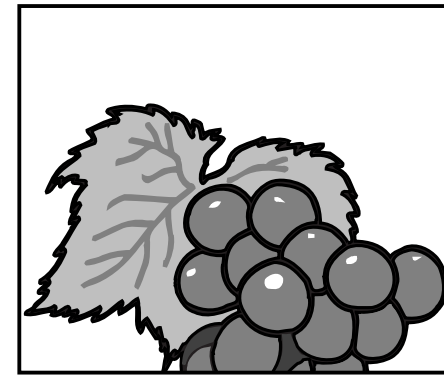
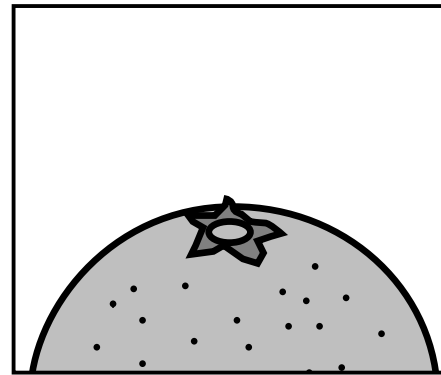
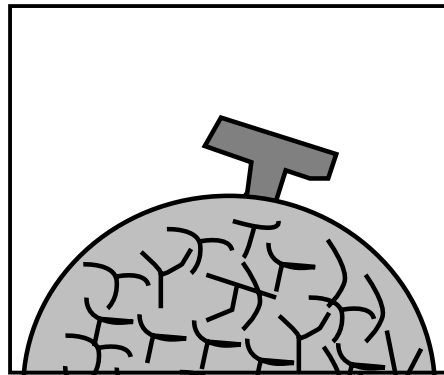
とけい	つみき	ちず	たんぽぽ	てんとうむし
				
●	●	●	●	●
た	ち	つ	て	と

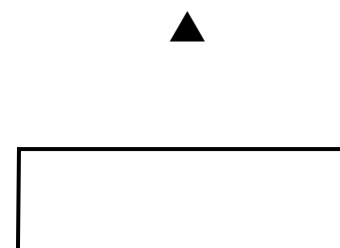
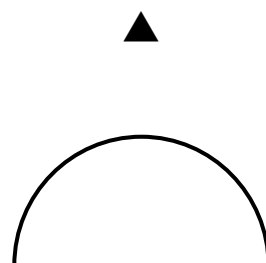
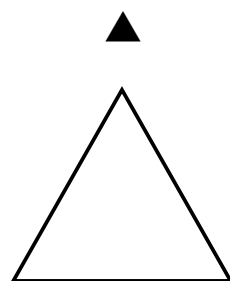
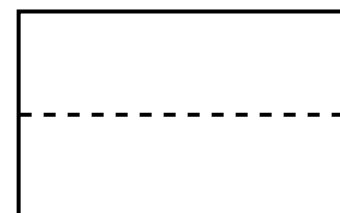
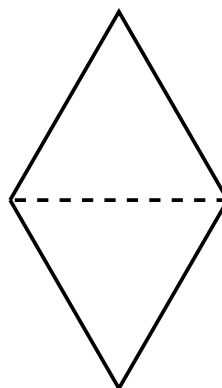
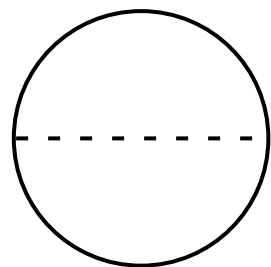
Diagram showing connections from the first letter of the words to the hiragana characters below:

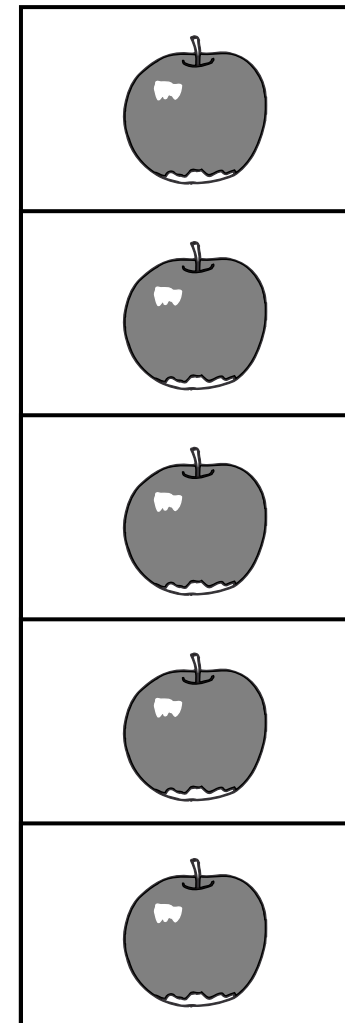
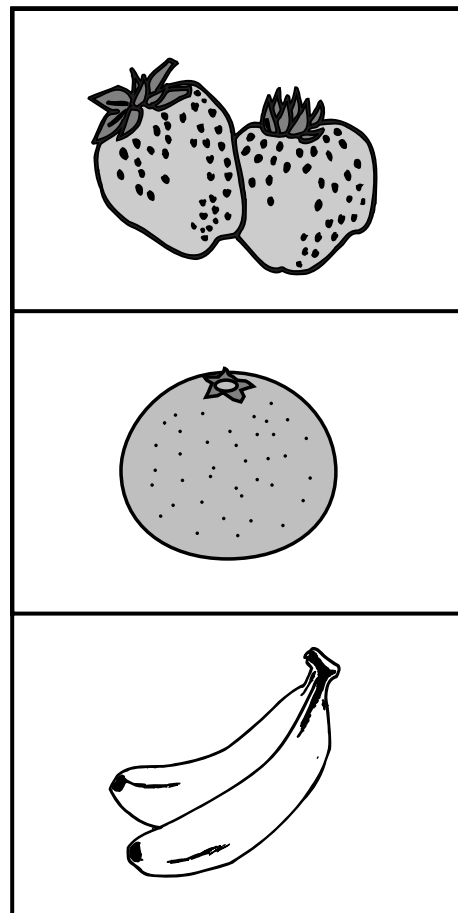
- とけい (to) connects to と
- つみき (tsumiki) connects to つ
- ちず (chizu) connects to ち
- たんぽぽ (tanpopo) connects to た
- てんとうむし (tentomushi) connects to て

<指導のポイント>

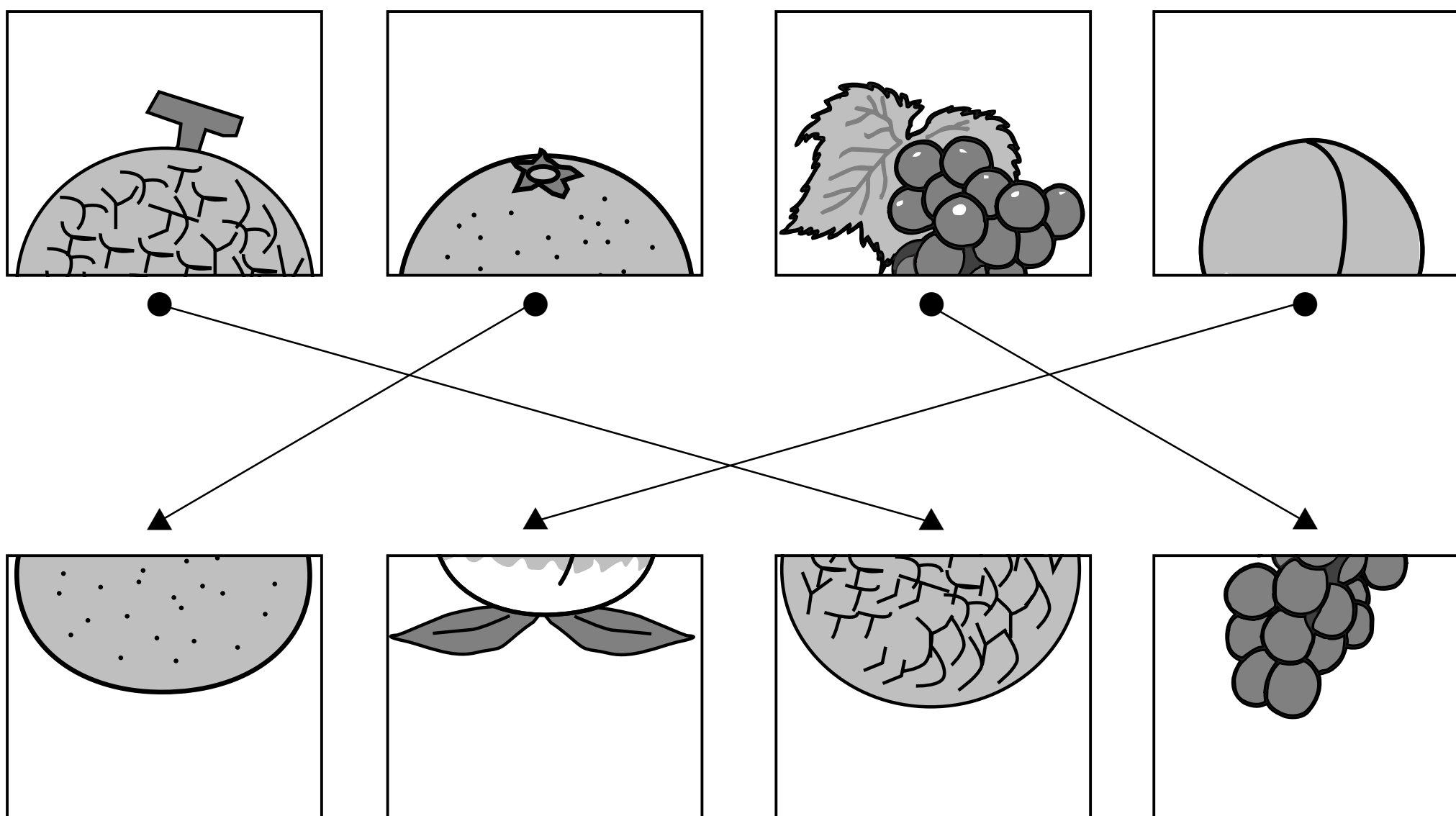
まず、下の段のひらがなを読んで、復唱させて下さい。それから、上の段の絵の名前と一番はじめの音の一つずつ確認しながら（「とけい」の「と」、「つみき」の「つ」…）、線でむすばせるとよいでしょう。







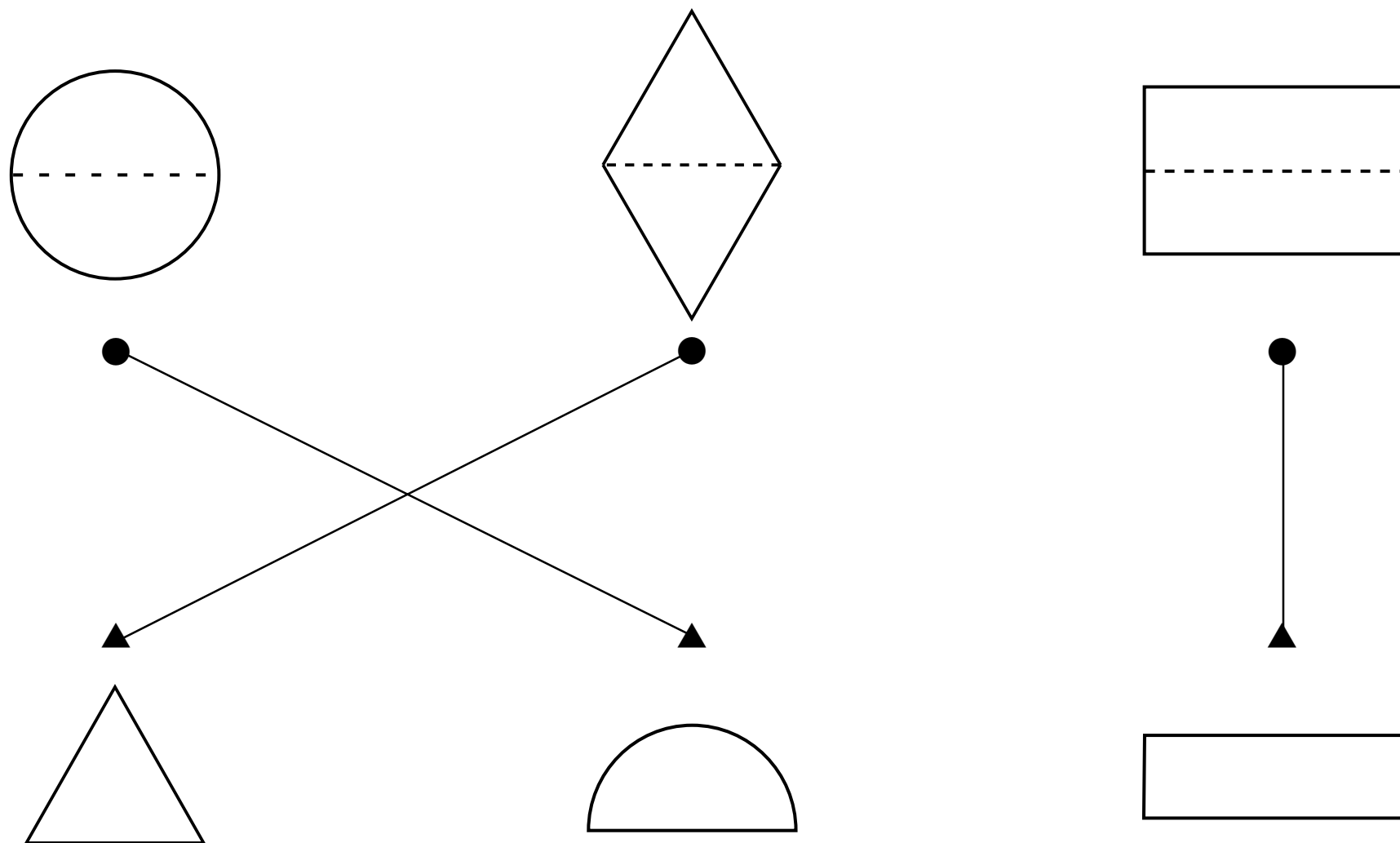
<問題> うまくあうように、上と下の絵を線で結びましょう。



<指導のポイント>

果物の色や形の特徴をとらえて、上と下の絵をあわせましょう。お子さんがわかりにくいようでしたら、(または答えあわせをかねて)、プリントを切りとって実際に絵をあわせてみるとよいでしょう。何の絵ができたか、果物の名前も言わせてみましょう。

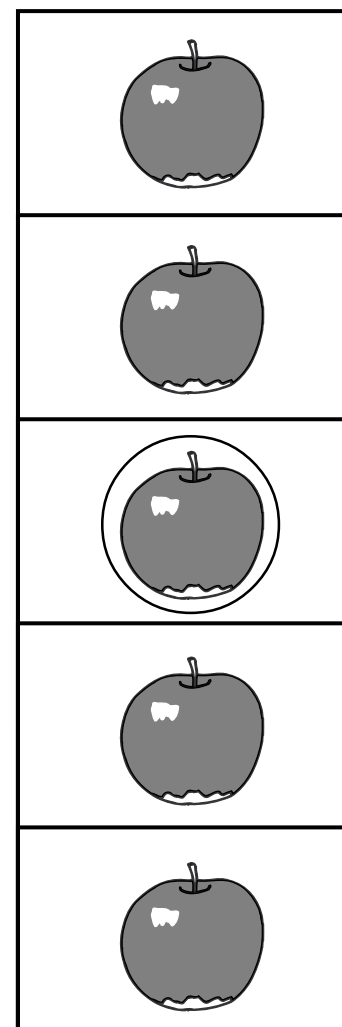
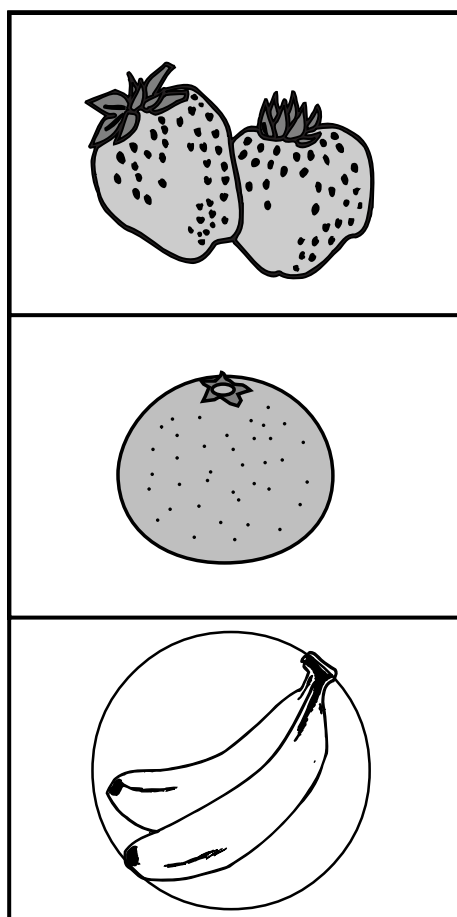
＜問題＞ 上の形を点線で2つに折ると、どんな形ができますか。下から選んで、線で結びましょう。



＜指導のポイント＞

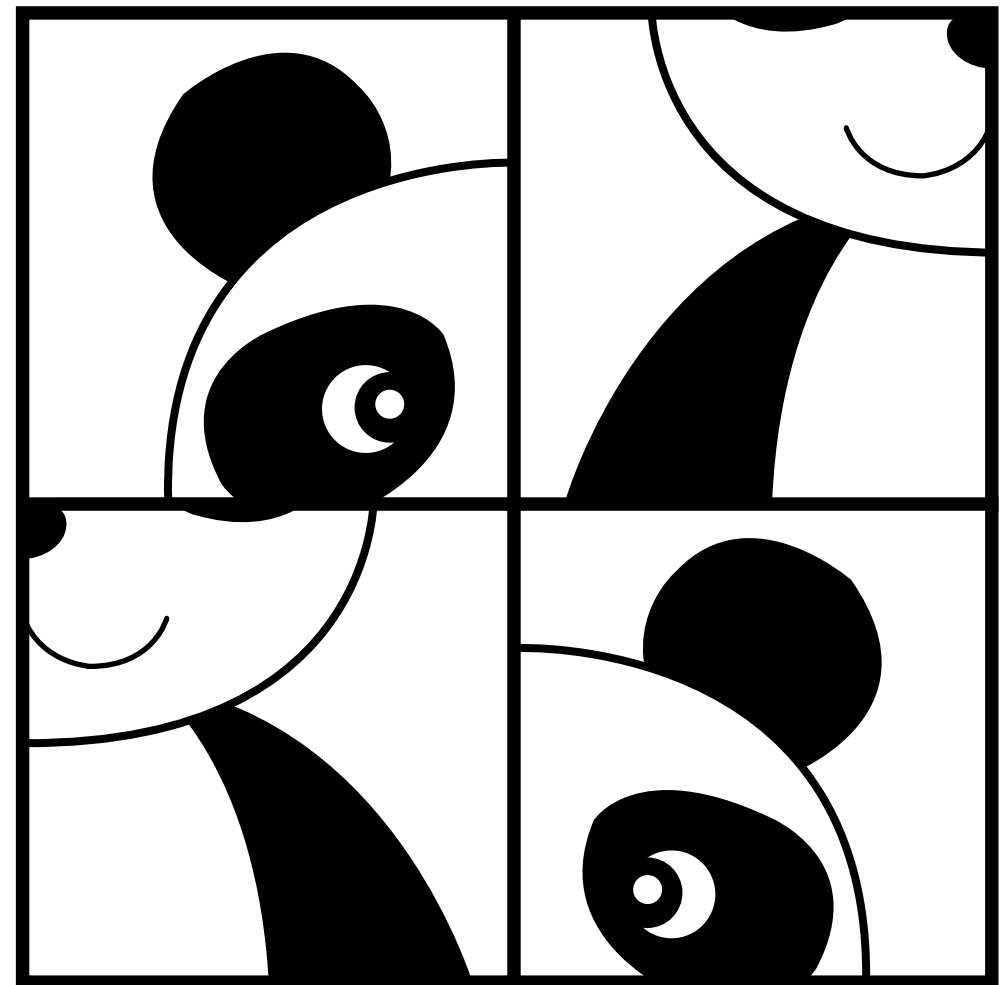
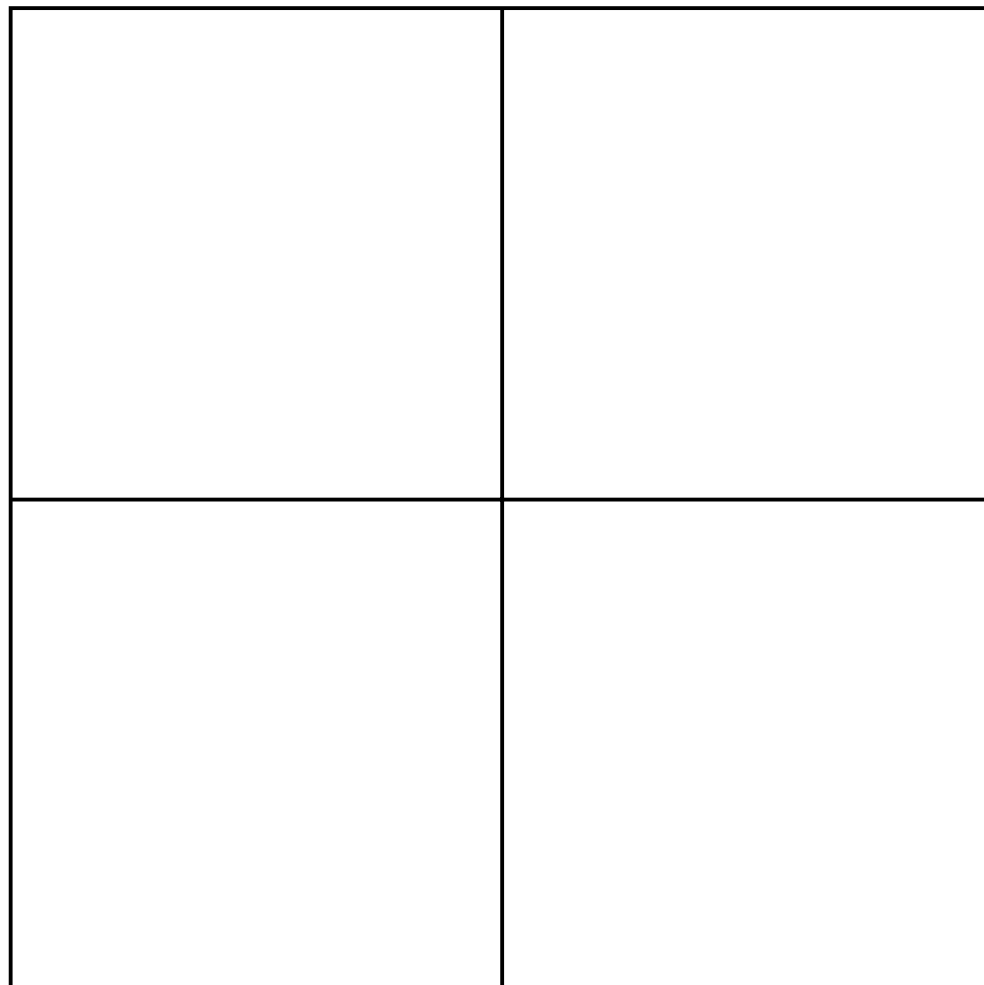
色紙などで実際に形を2つに折って、できた形をよく観察させましょう。まん中で2つに折ってできた形は、もとの形のちょうど半分になっていることも教えてあげるとよいでしょう。

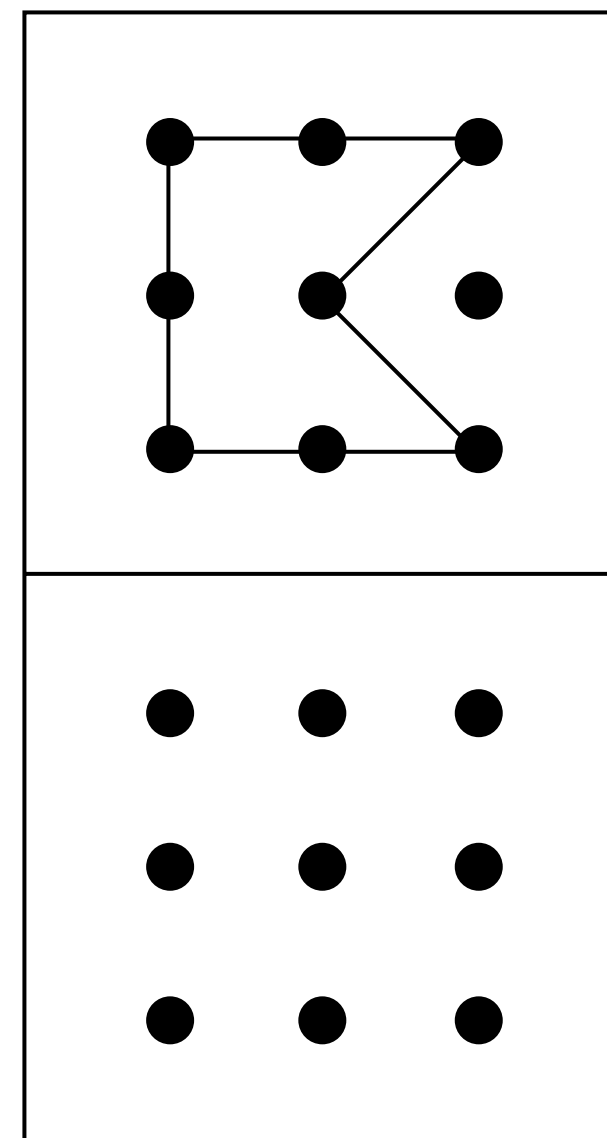
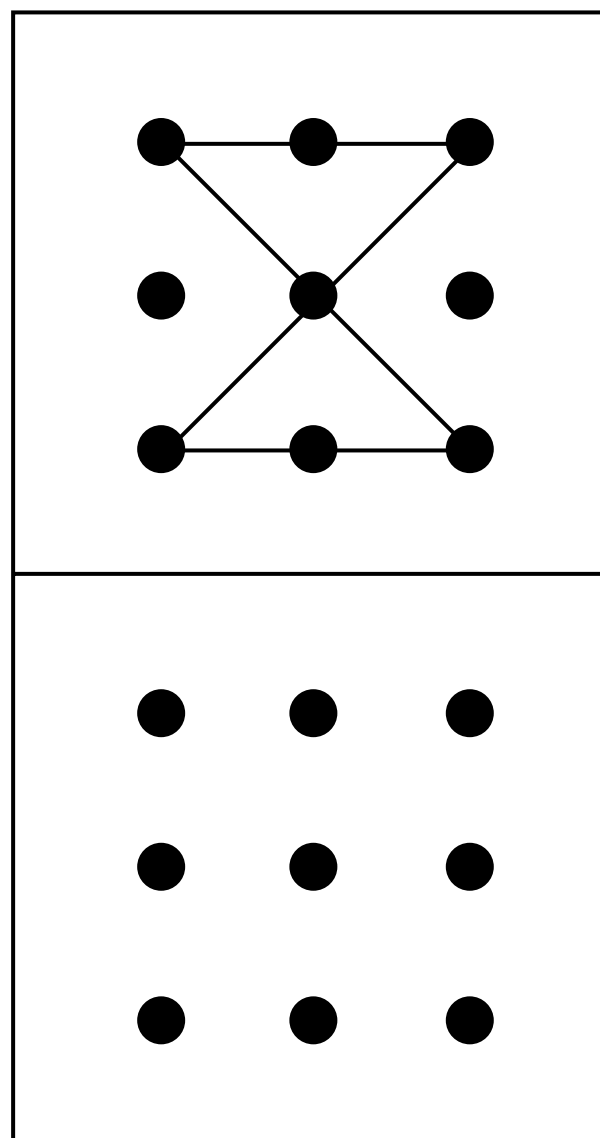
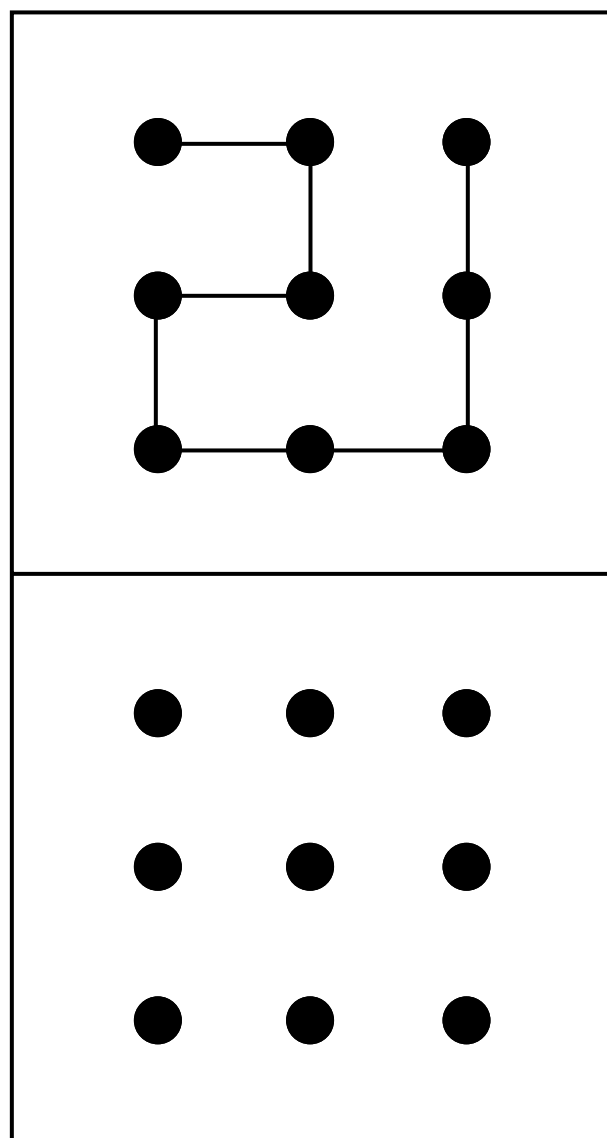
<問題> (左) 下から1番目にあるものに、○をつけましょう。
(右) 下から3番目のりんごに、○をつけましょう。

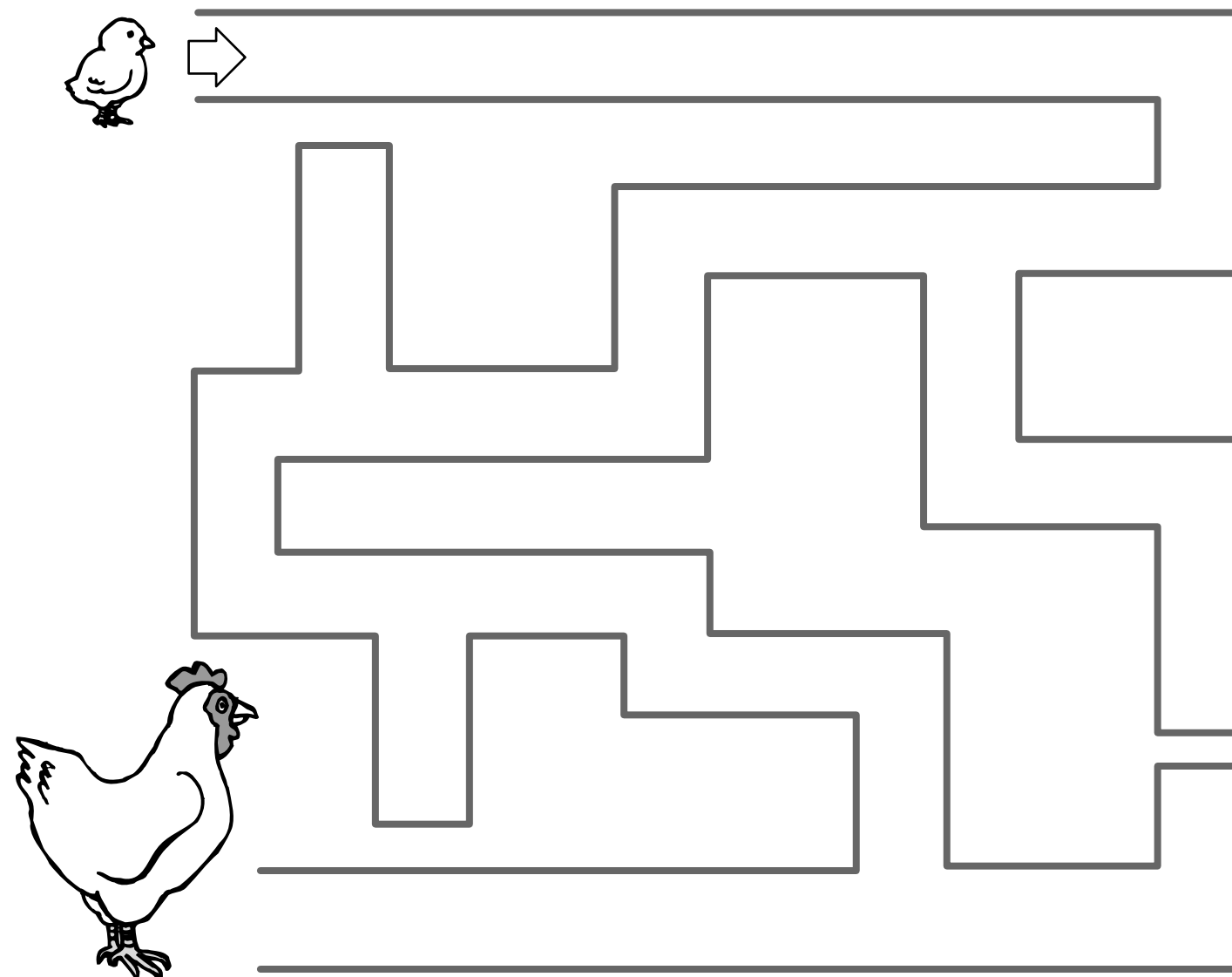


<指導のポイント>

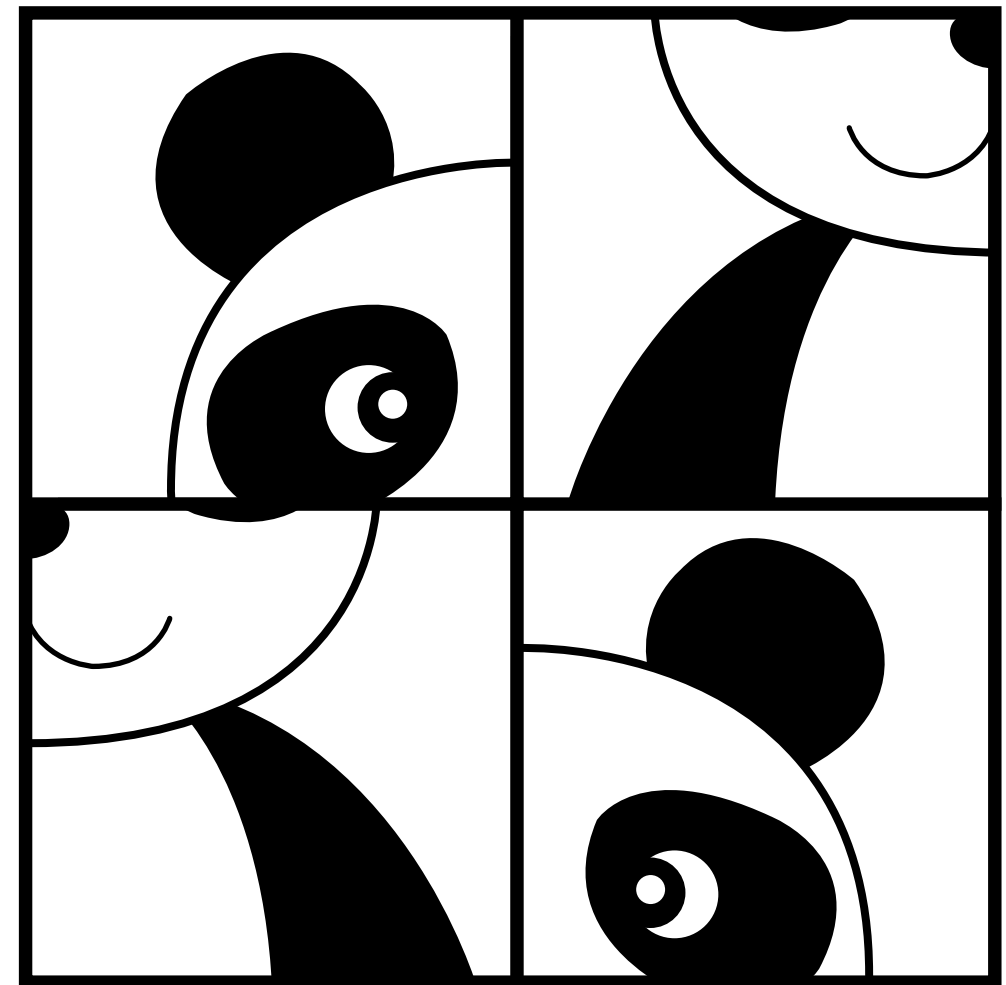
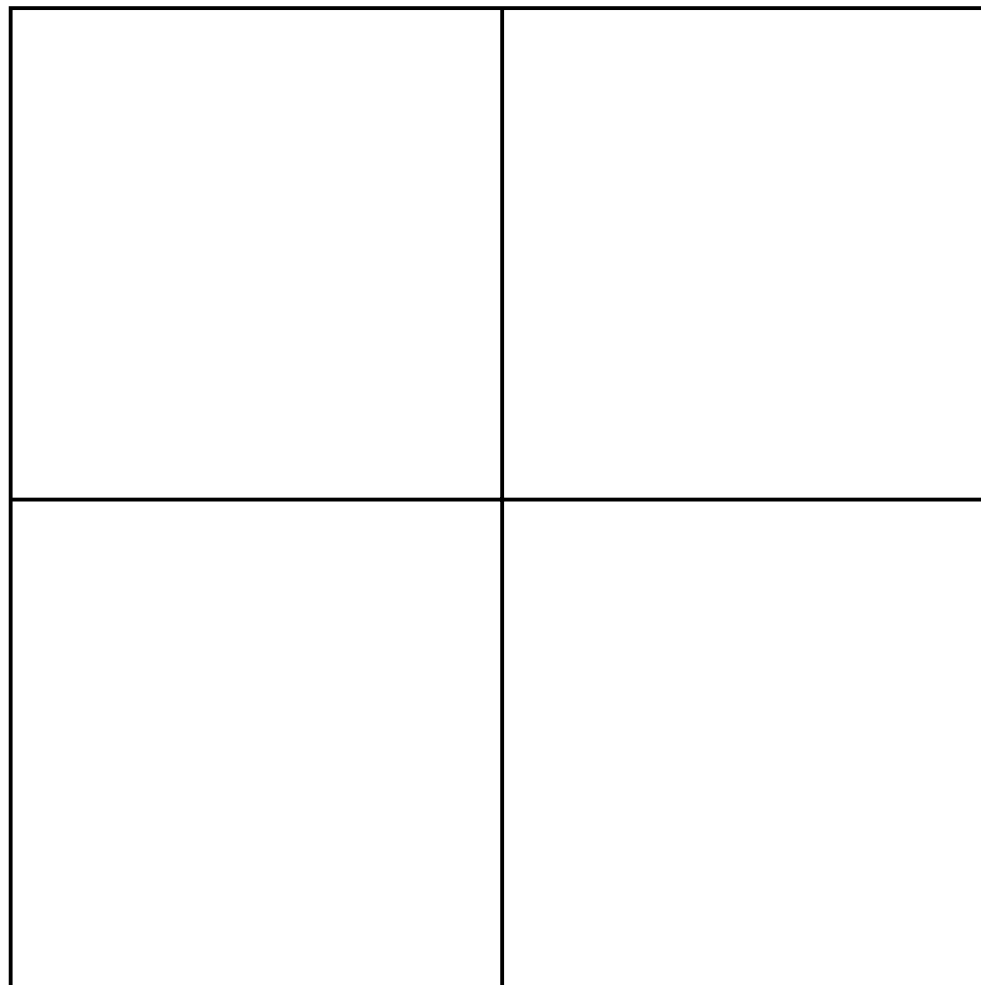
「～から・・・番目」というように、数で順序を表わす練習です。まず、「上一下」が理解できているか、確認しておきます。ものの個数を数える時と同じように、一つずつ指でおさえながら、しっかり順番を数えさせましょう。「～から」という位置をしっかりと確認させて、そこから、「1、2番目」と数えさせて下さい。







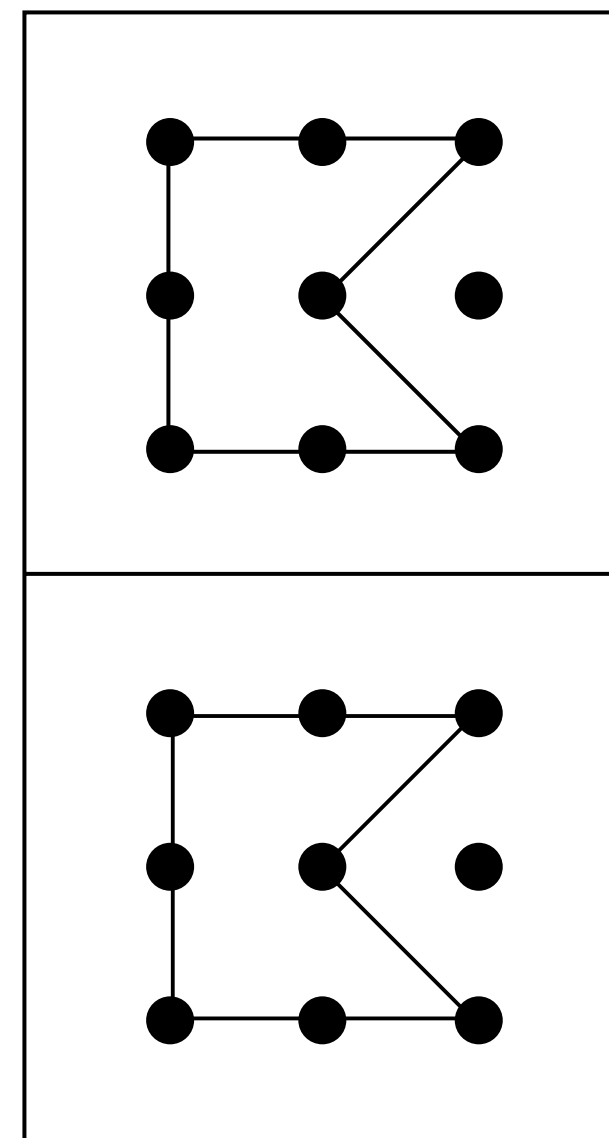
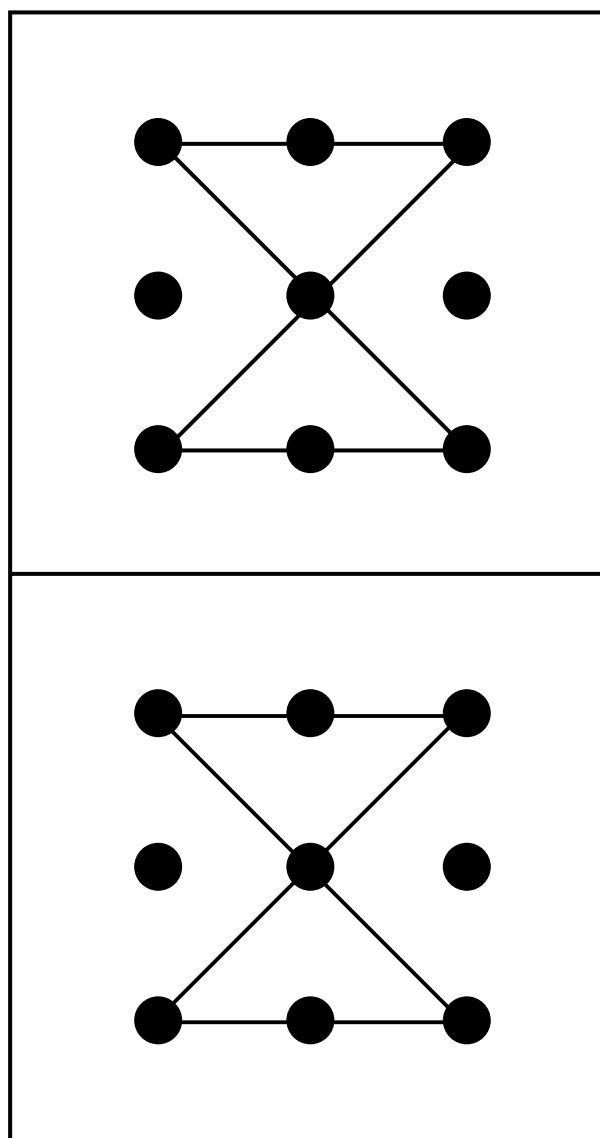
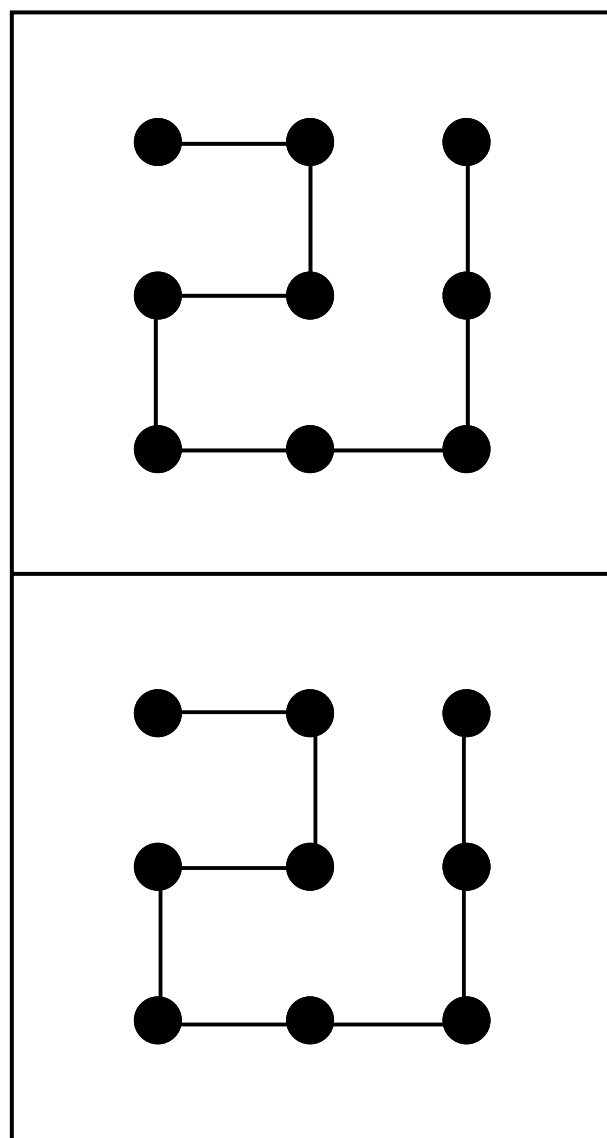
- <問題> (1) 線にそって、はさみで紙を切りましょう。
(2) 左のわくに、きちんとした絵になるようにのりで紙をはりましょう。



<指導のポイント>

左手で紙を持ち、はさみの刃元（支点の近く）を使って、はさみを立てて切りましょう。のりで紙をはる前に、きちんとした絵になるように並べさせて下さい。「1枚の絵ができた」という達成感を大切に、楽しく作業をさせてあげましょう。

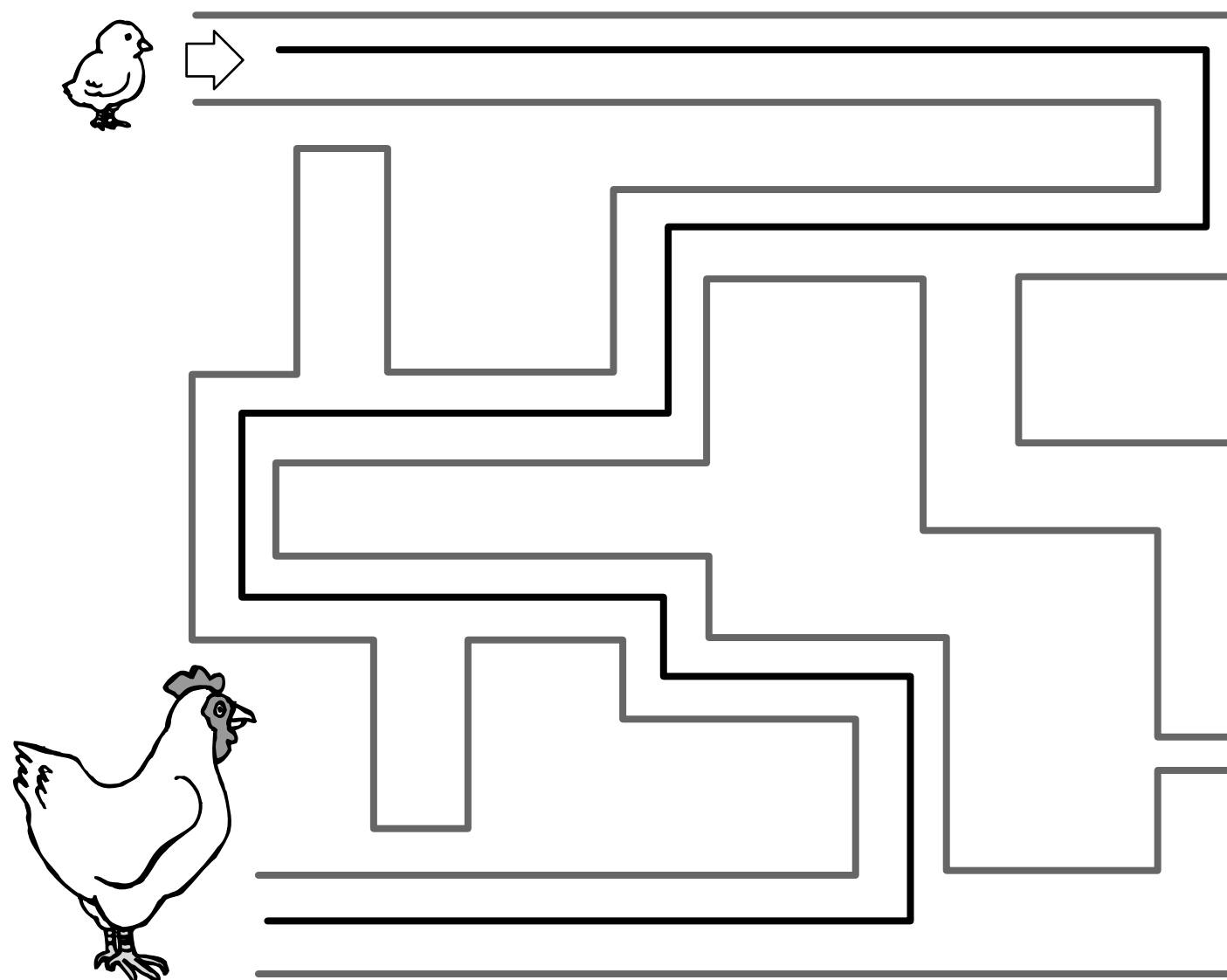
<問題> 上のお手本と同じになるように、クレヨンで点をつなぎましょう。



<指導のポイント>

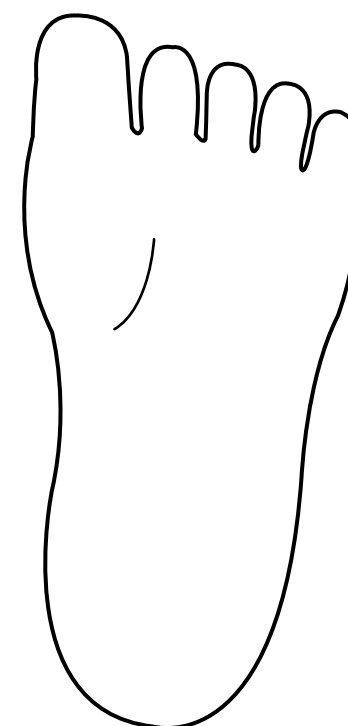
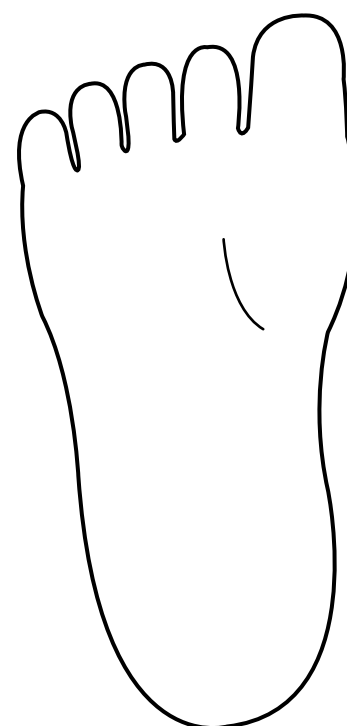
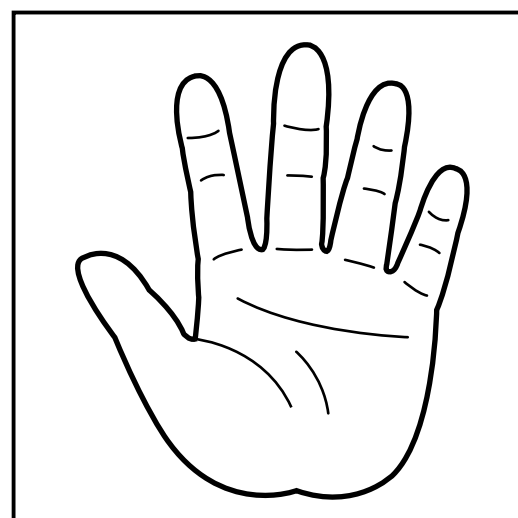
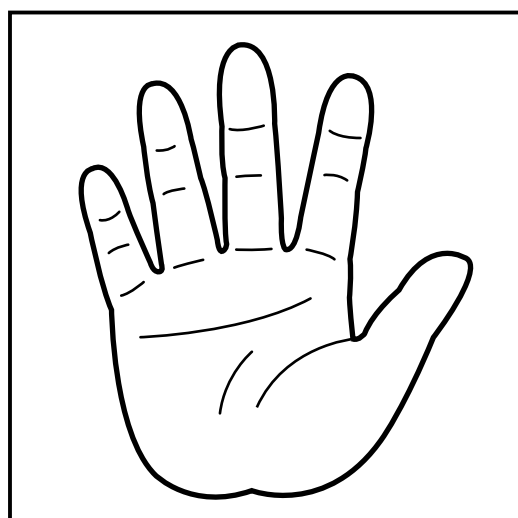
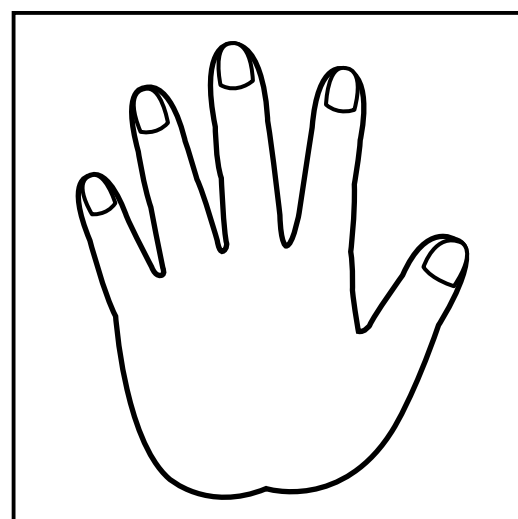
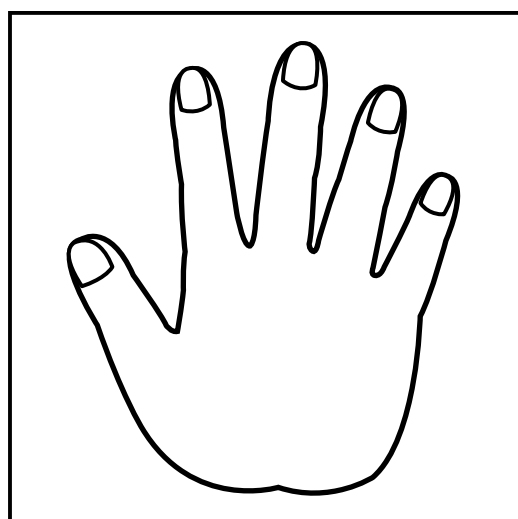
上のお手本をよく見て、点をつないでかきましょう。線をひく時は点の上をきちんと通って、できるだけまっすぐにかきましょう。指導者がこれからかくところを指で示してあげてもよいでしょう。ななめの線もかけるように練習しておきましょう。

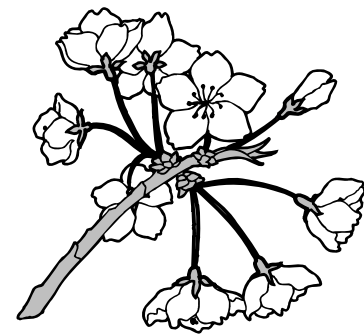
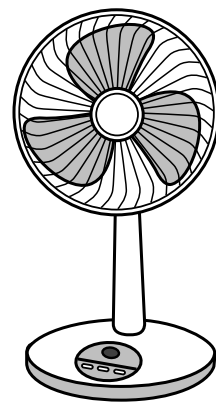
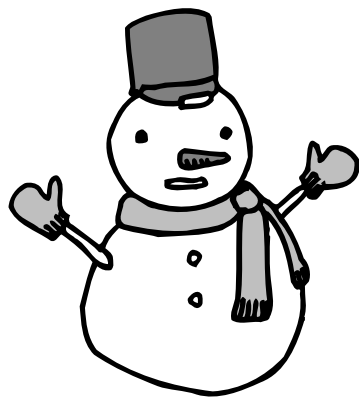
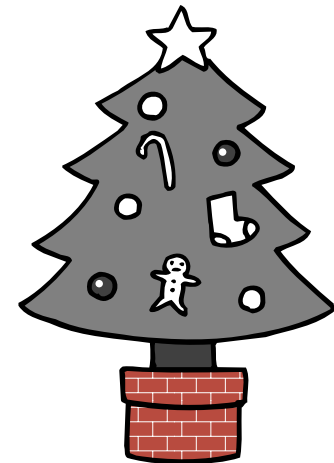
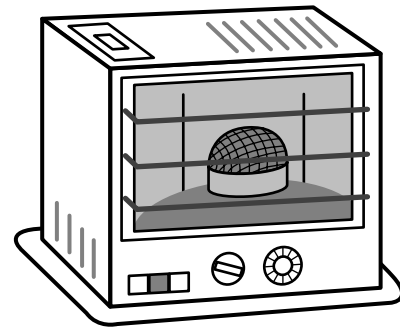
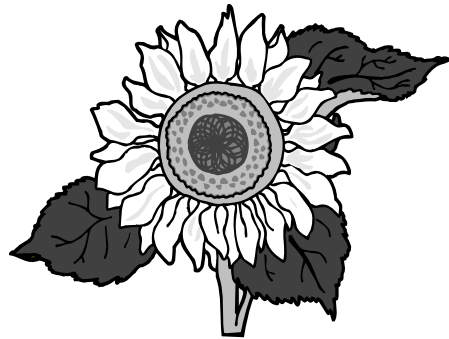
＜問題＞ ひよこがにわとりのところまで行く道に、線をひきましょう。

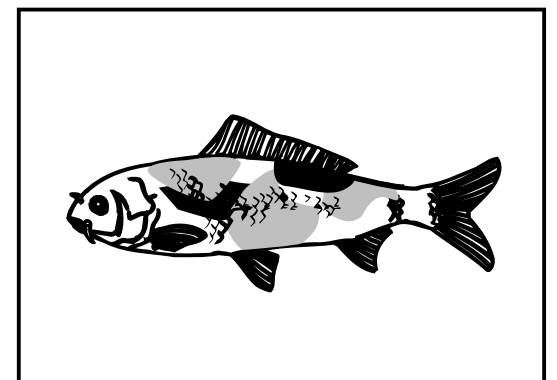
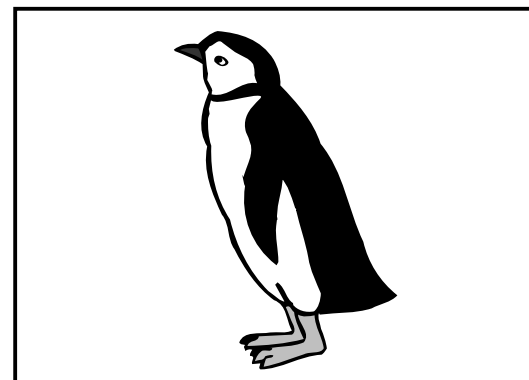
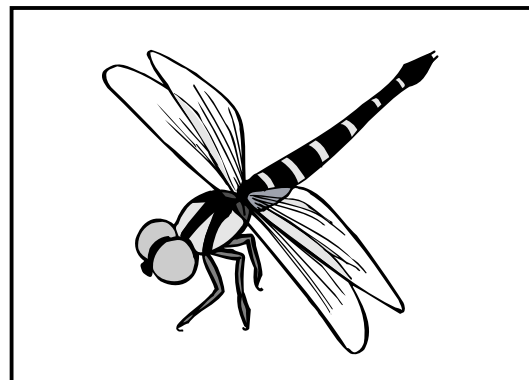
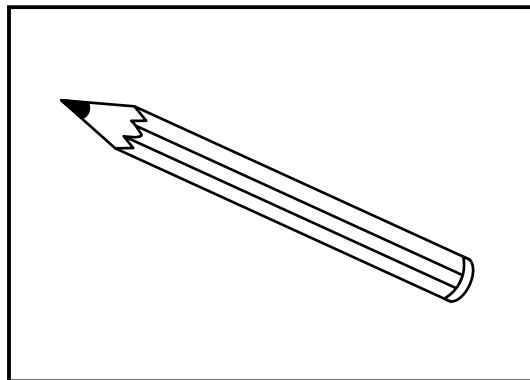
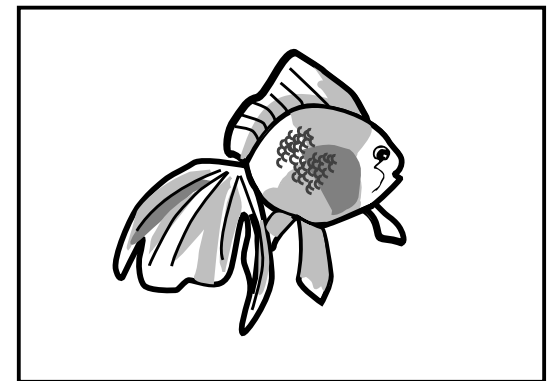
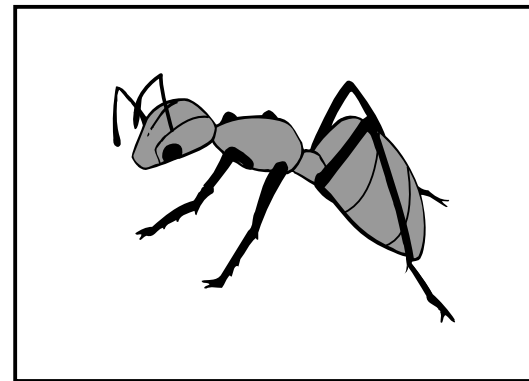
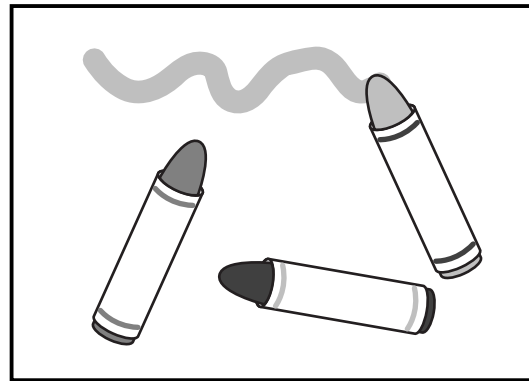
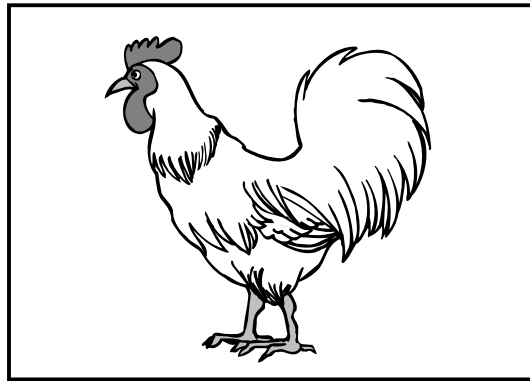


＜指導のポイント＞

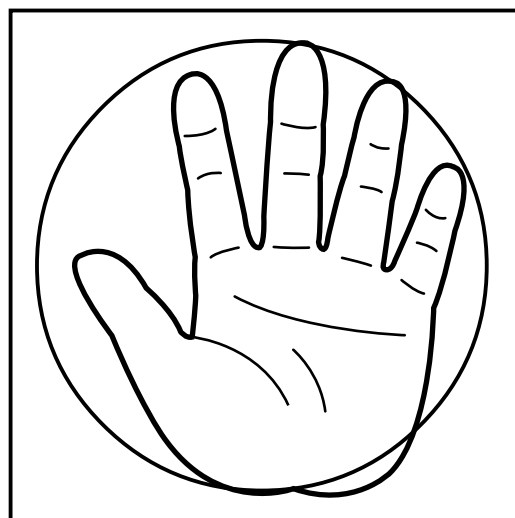
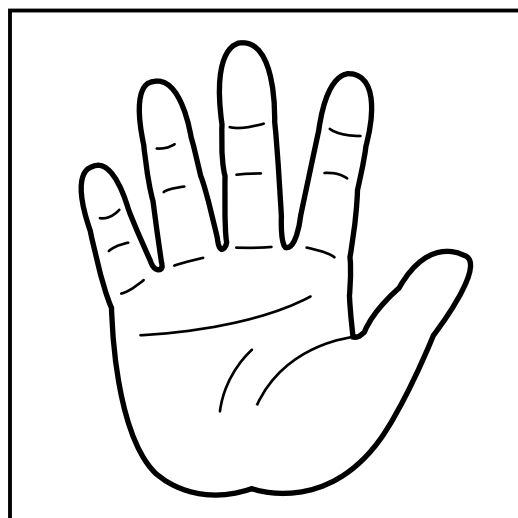
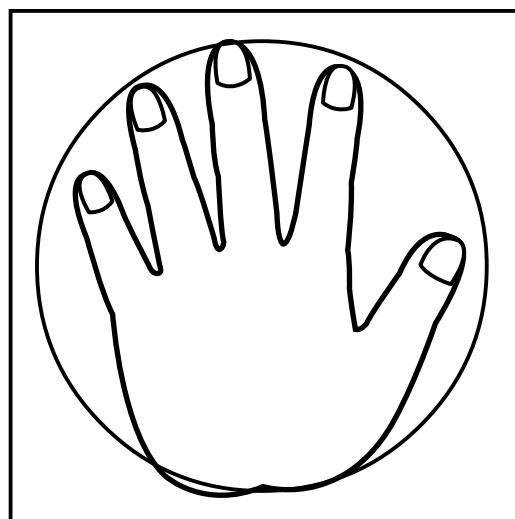
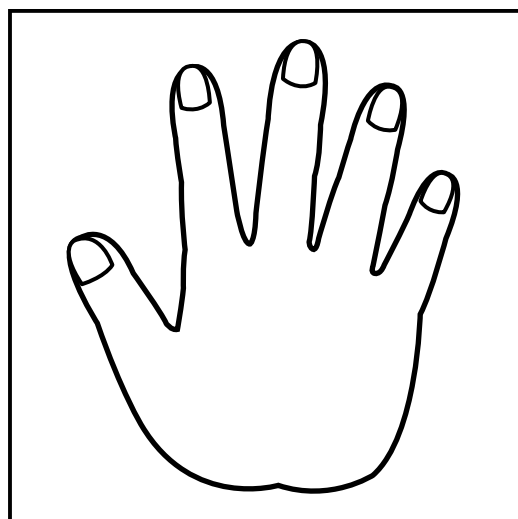
迷路の問題は、運筆力と推理力の両方を養うのに役立ちます。道が分かれている所では、先をよくみてどちらに行けばうまく進めるか考えて、線をひかせましょう。行き止まっても、途中までもどって、最後まで線をひかせましょう。



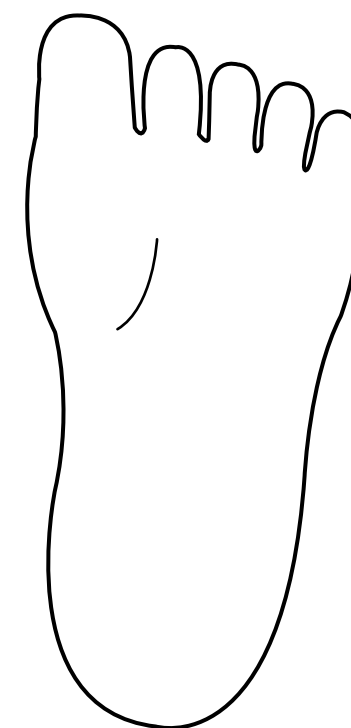
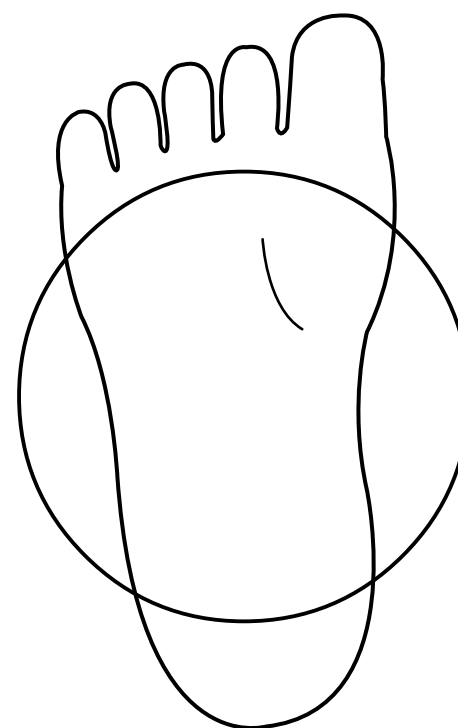




<問題>左手に、○をつけましょう。



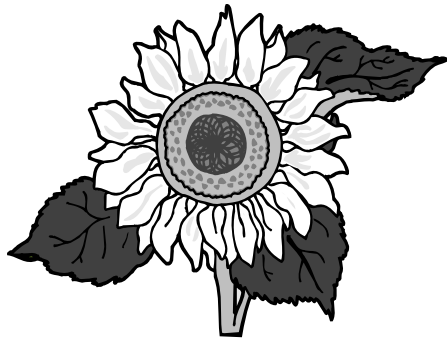
右足に○をつけましょう。



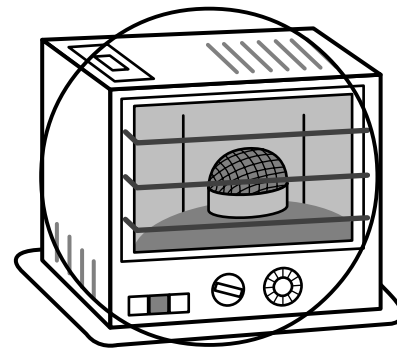
<指導のポイント>

両手を机の上に置いて、絵と自分の手を比べながら、左手に○をつけさせるとよいでしょう。右利きの場合は「おはしを持つ方の手が右手」「茶わんを持つ方の手が左手」です。手にあわせて、足も左右が区別できるようにしましょう。

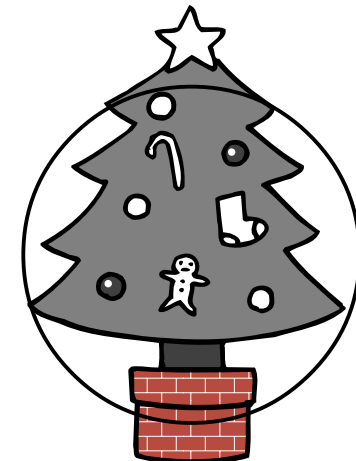
- <問題> (1) 一つずつ、名前を言いましょう。
(2) 「冬」の季節のものに、○をつけましょう。



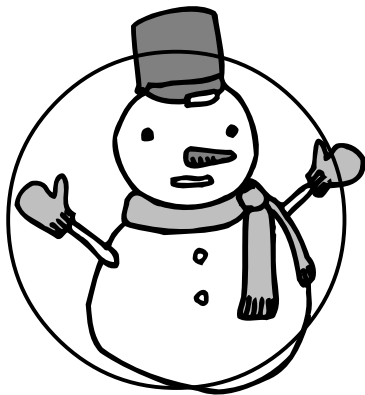
ひまわり (夏)



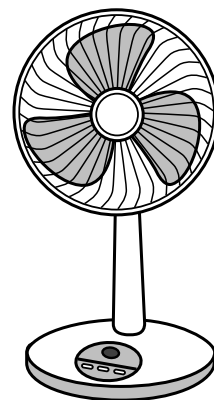
ストーブ (冬)



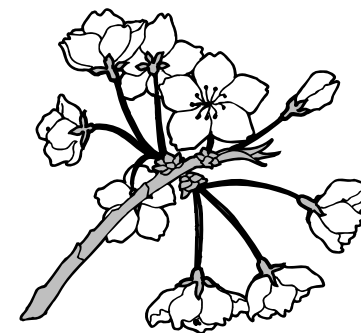
クリスマスツリー (冬)



ゆきだるま (冬)



せんぷうき (夏)

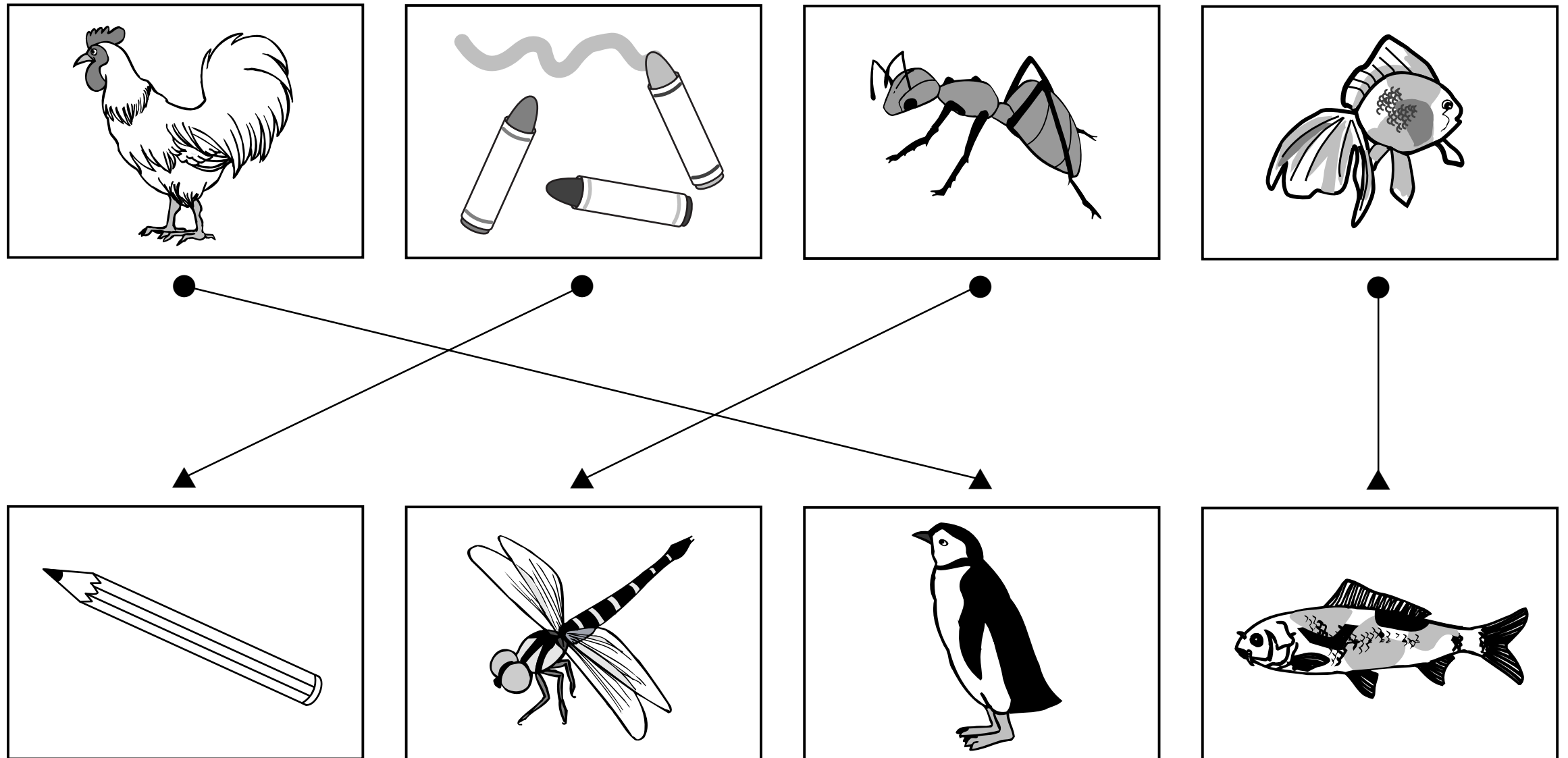


さくら (春)

<指導のポイント>

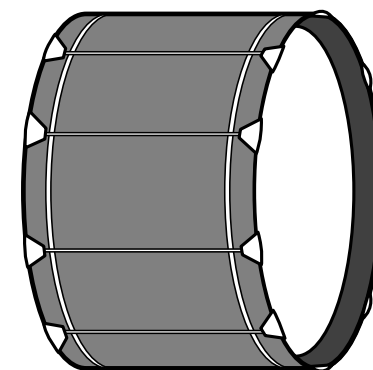
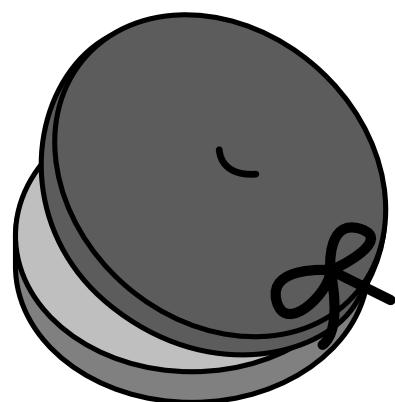
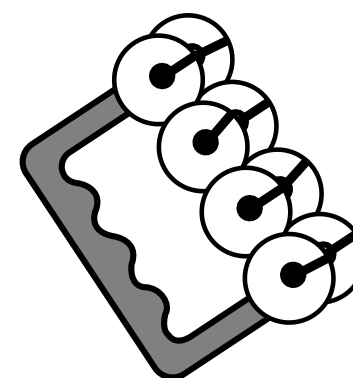
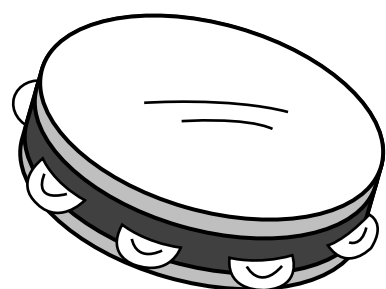
小さな子どもにとって、季節はなかなかとらえにくいものです。それぞれの時期の旬の食べ物や自然の変化、年中行事などを通じて、四季の移り変わりを少しずつ意識させるようにしましょう。

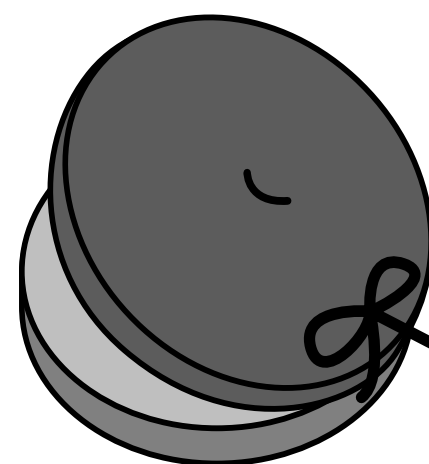
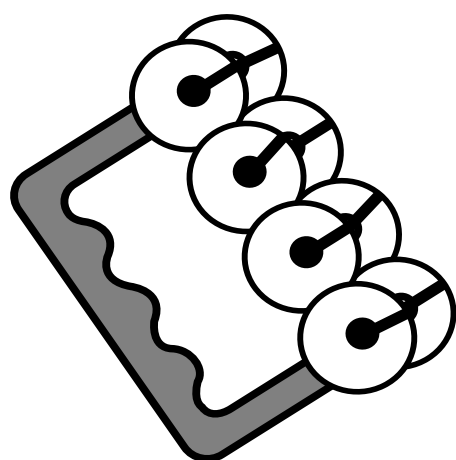
＜問題＞ 上と同じ仲間のものはどれですか。下の絵の中でみつけて、線で結びましょう。



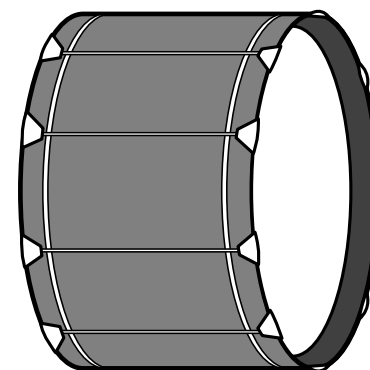
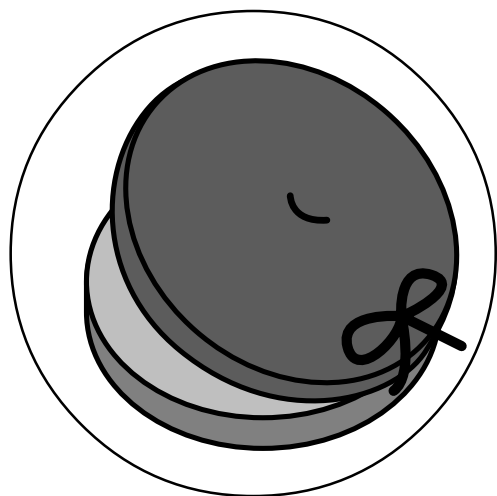
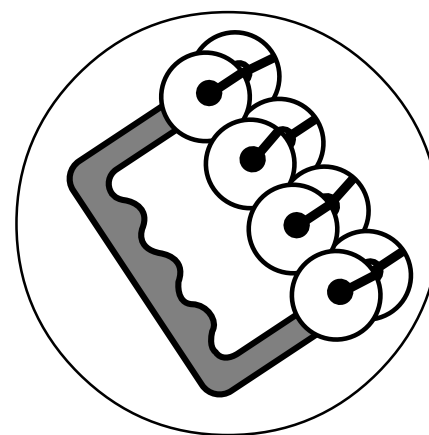
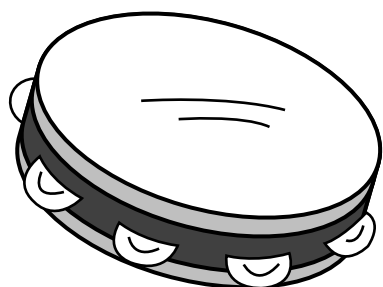
＜指導のポイント＞

何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがしましょう。答えあわせの時には、「にわとりも、ペンギンも鳥の仲間ね」というように教えてあげましょう。鳥の仲間、文房具の仲間、虫の仲間、魚の仲間など、仲間の種類を教えてください。



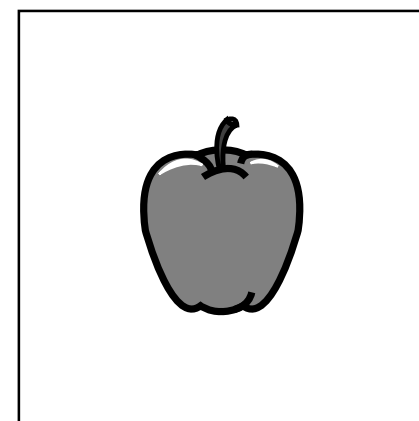
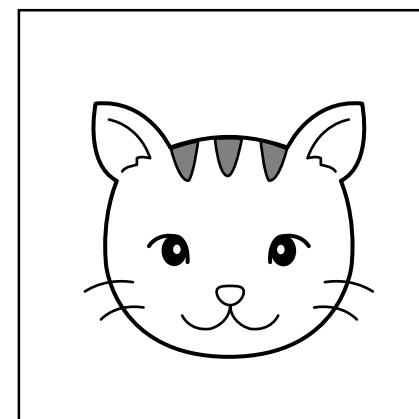
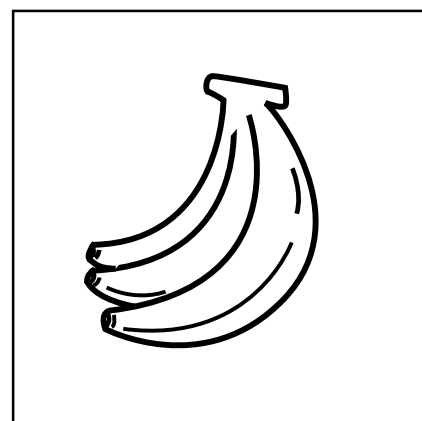
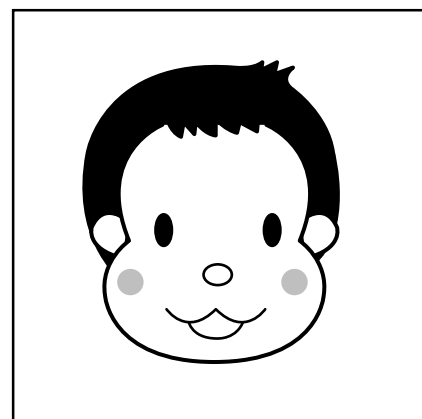


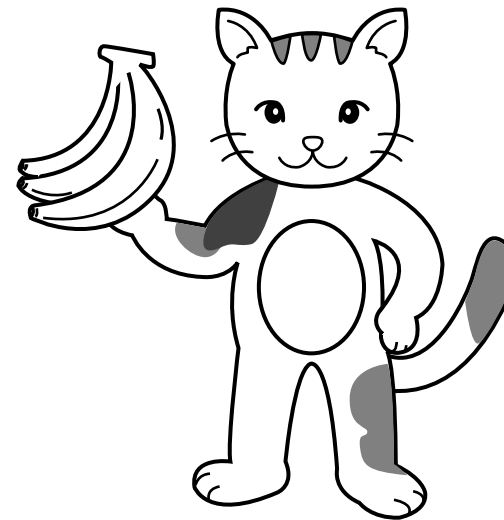
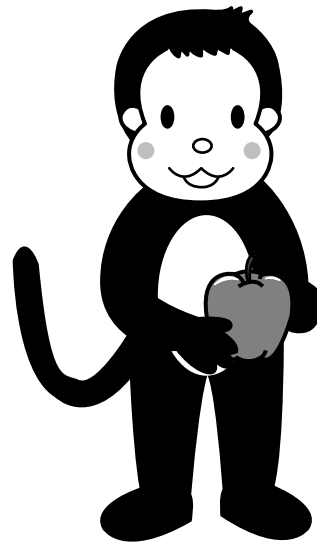
- <問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。
「何があるか、よく見ましょう。何があったか、後から聞きますよ。」
(2) プリントを表向きにして、「何がありましたか。○をつけましょう。」



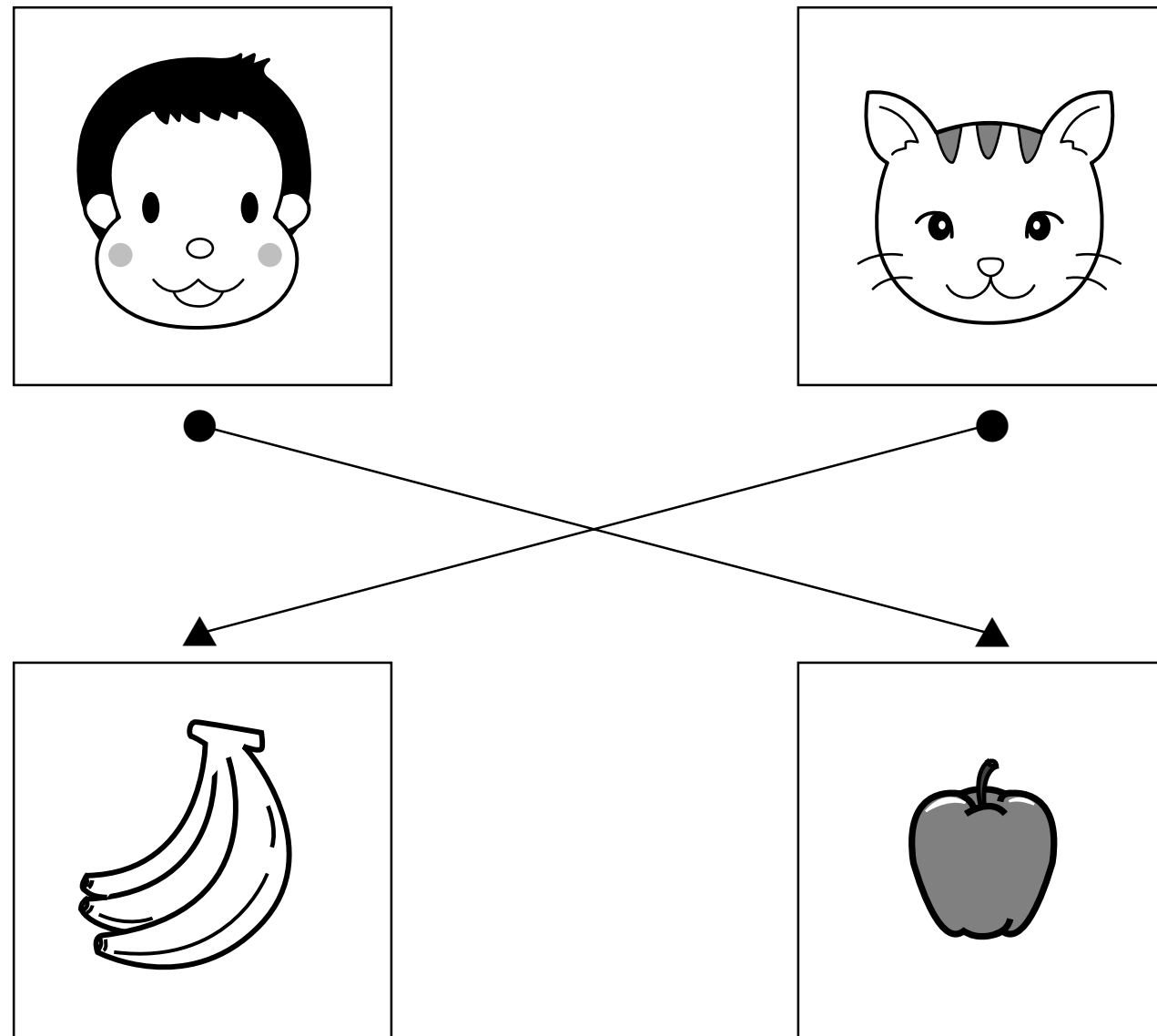
<指導のポイント>

答えあわせをかねて、もう一度絵を見せた後で、「何があったのかな」「すずとカスタネット」というように、言葉でも確認しておいて下さい。



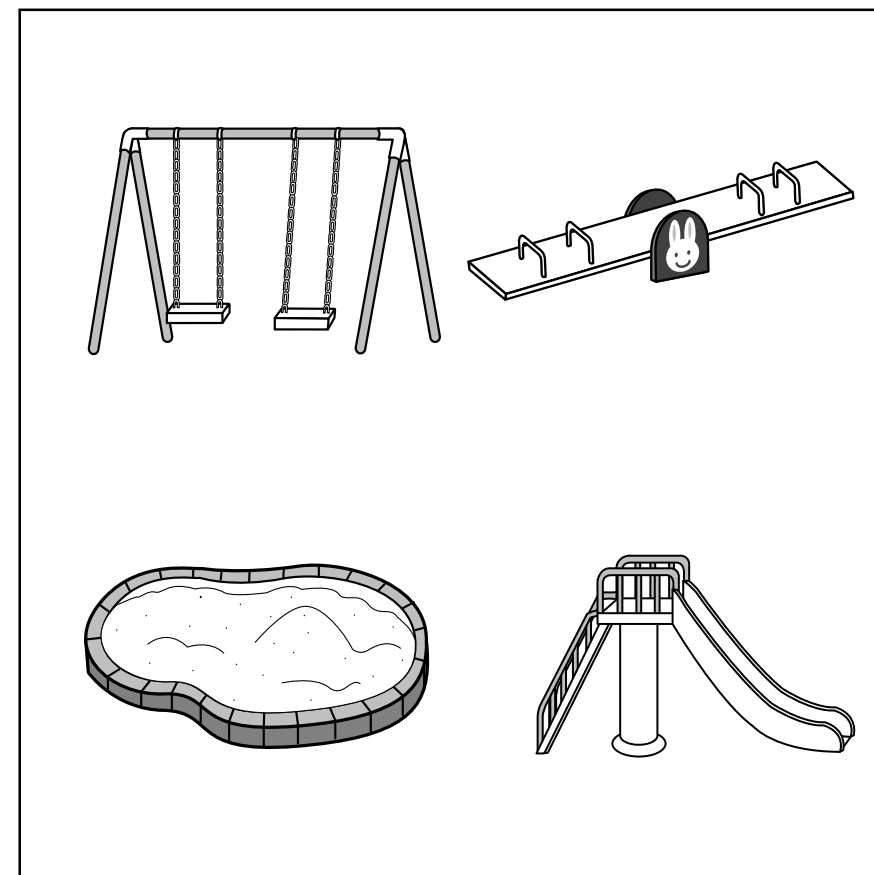
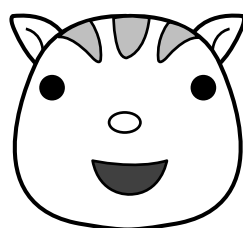
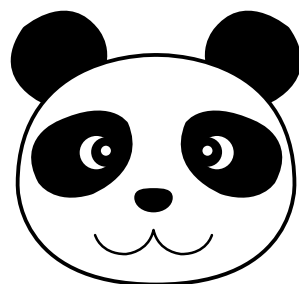
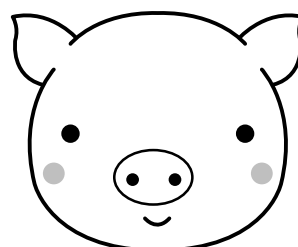
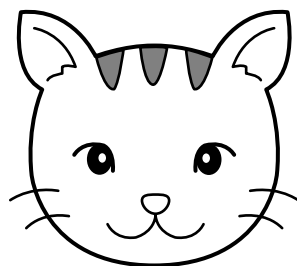
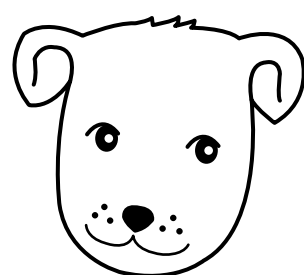


- <問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。
「誰が何を持っているかよく見ましょう。後から聞きますよ。」
(2) プリントを表向きにして、「誰が何を持っていましたか。線で結びましょう。」

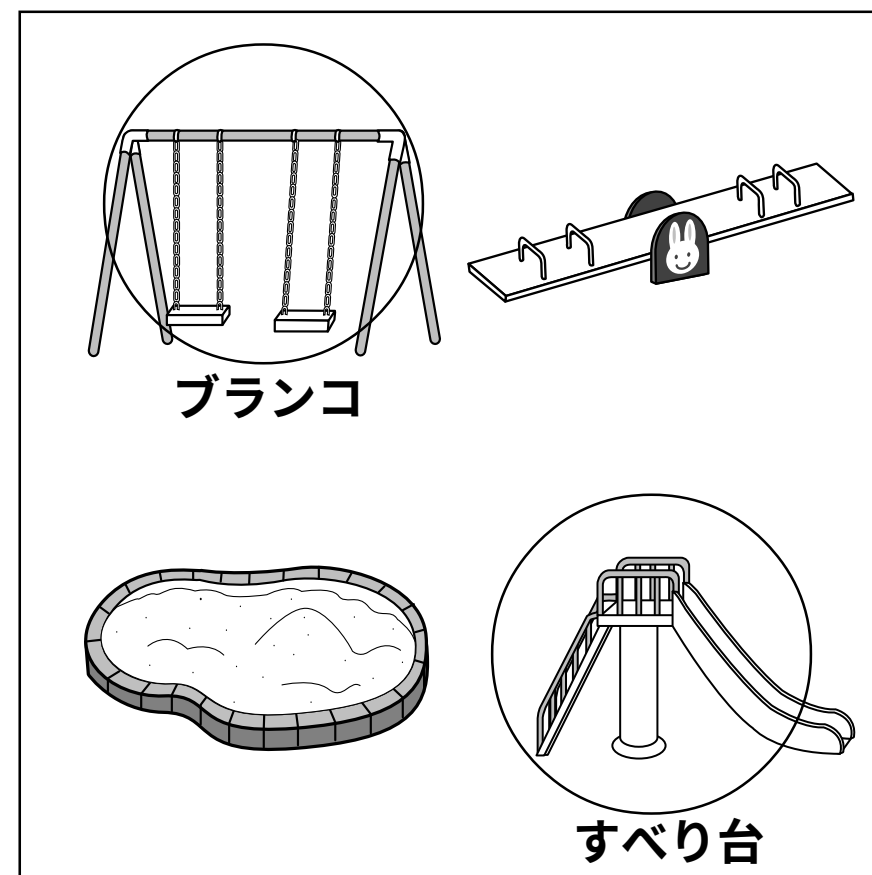
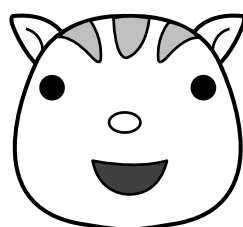
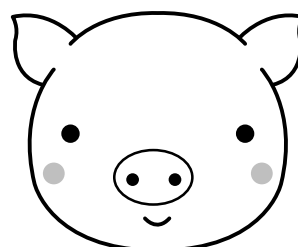
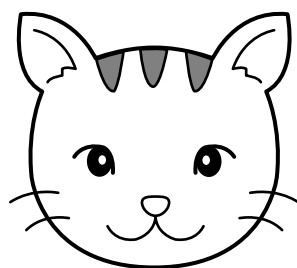
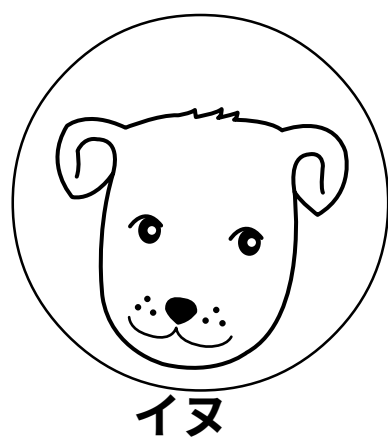


<指導のポイント>

誰が何を持っているか、動物と果物を対応させて覚える練習です。絵を見せた後、「さるは何を持っていたかな」と質問してあげながら、絵を線でむすばせるとよいでしょう。



- <問題> (1) (プリントはふせておきます。集中して聞けるように、目を閉じさせましょう。)
- (2) 「今から言うお話を、よく聞いて、覚えましょう。」「イヌとパンダが公園で遊んでいます。イヌはすべり台の上にあります。パンダは、ブランコにのっています。」
- (3) (プリントを表向けてあげて下さい)「今のお話に出てきたものに、○をつけましょう。」



<指導のポイント>

お話をしっかり聞きとって記憶することは、日常生活でも、学習でもとても大切なことです。頭の中でお話の様子を思いうかべるようにして、聞きましょう。お子さんが○をつけ終わったら、答えあわせをかねてもう一度お話を読んであげて下さい。日頃から、いろいろな本を読み聞かせたりして、聞く練習を続けましょう。